

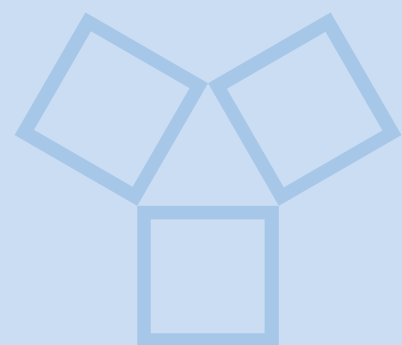
2016

平成 28 年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2016 – March 2017



YOKOHAMA MUSEUM OF ART

2016

平成 28 年度

横浜美術館年報

Yokohama Museum of Art Annual Report

April 2016 – March 2017

序

平成28年度は、横浜美術館と学校、企業、病院、文化施設など、さまざまな組織や人との関係性を深化させることができた年度です。また美術のジャンルを超えて、ダンスや演劇の専門家たちとユニークなプロジェクトを実施することができました。

展覧会では横浜美術館コレクションの多様な活用も試みました。春の「複製技術と美術家たち展」では、富士ゼロックス社の企業コレクションと当館のコレクションを組み合わせた展示構成とともに、協働で創作ワークショップを行うなど、企業との新しい関係性を構築しました。冬は「篠山紀信展」に合わせ、コレクション展全体を写真と映像で構成し「全館写真」を初めて実現しました。美術情報センターが収蔵している図書・資料もテーマに合わせ、積極的に活用・展示しました。また教育プロジェクトチームが、初めてコレクション展のテーマ展示の一部を担当したことも今年度の特徴です。

夏はドガと親交があった印象派の女性画家、メアリー・カサットに焦点をあて、国内では35年ぶりとなる大規模な個展を開催し、海外からも高い評価を得ました。秋はアジアからも作家を招聘し、カラダをめぐる物語を紡ぐ6人による「BODY展」を実施しました。市民のアトリエが作家の新作制作を支援し、また横浜赤レンガ倉庫1号館でのダンスパフォーマンスと連携したワークショップを行うなど、本展は多様なコラボレーションにも力を注ぎました。

子どものアトリエや市民のアトリエは、高齢者施設や子ども医療センターなどへのアウトリーチ活動も進展させました。鑑賞教育では、当館のコレクション作品と対話する形式で中高生が書いた戯曲をもとに、プロの俳優が演じるプロジェクトや、中学校の授業で使用する作品鑑賞用ツールを美術の先生と協働で制作し、ウェブサイトアップするなど、今までにない新たな取組みも行っています。

また、企業と美術館の新たな支援の在り方も模索しています。展覧会や教育などの事業を対象とするだけでなく、今年度は美術情報センターの導入サインのデザインに対してご協賛をいただくことができました。そのため、同センターへの動線が以前より明快となり、来館者サービスにもつなげることができました。

来館者の方々に対して美術への窓を大きく開け、美術の存在意義を伝えることができるよう、今年度も各チームが多様な新しい試みに取り組みました。引き続き、横浜美術館の特徴を活かしつつ、国内外に発信できる美術館を目指してまいります。

横浜美術館館長 逢坂恵理子

目次

基本方針・沿革	7
展覧会事業	
概要	9
企画展1 富士ゼロックス版画コレクション×横浜美術館 複製技術と美術家たち—ピカソからウオーホールまで	10
企画展2 メアリー・カサット展	12
企画展3 BODY/PLAY/POLITICS	14
企画展4 篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN	16
横浜美術館コレクション展 2016年度第1期	18
横浜美術館コレクション展 2016年度第2期	20
横浜美術館コレクション展 2016年度第3期	22
New Artist Picks 和田淳展 私の沼	24
調査研究・普及活動(個人)	26
美術情報センターの活動	29
教育普及事業	
概要	31
鑑賞サポート	32
子どものアトリエ	36
市民のアトリエ	39
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	
市民協働	42
地域社会や市民生活に貢献する事業	44
美術品の収集、保存・修復、貸出	
収集	47
保存・修復	48
貸出	49
広報の活動、外部と連携した事業	
広報	52
外部と連携した事業	54
来館者へのおもてなし	57
国際的な交流・発信	59
資料	
入館者数・収支	62
役員等・組織図	63
職員名簿	64
条例・施行規則	65
施設概要・利用案内	70

注

本年報では、各展覧会を一部下記の略称で表記しています。
「複製技術と美術家たち—ピカソからウオーホールまで」…複製技術と美術家たち展
「メアリー・カサット展」…カサット展
「BODY/PLAY/POLITICS」…BODY展
「篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN」…篠山紀信展
「横浜美術館コレクション展」…コレクション展
「New Artist Picks 和田淳展 | 私の沼」…和田淳展

基本方針・沿革

基本方針：国際都市横浜にふさわしい世界に開かれた美術館を目指して

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、横浜市との政策協働による指定管理者制度に基づき、平成25年度から10年間にわたり横浜美術館の運営を担っています。10年間にわたる重点項目として、「発信力の強化」「教育プログラムの強化」「市民とつながるプログラムの強化」「営業力の強化」「経営基盤と人材の強化」の5つを定め、次に掲げる美術館を目指しています。

- ・市民の誰もが美術に親しみ、多くの市民に「観る」「創る」「学ぶ」機会を提供することにより、市民の創造性を育み、心豊かで活力に満ちた生活の実現に貢献する美術館。
- ・世界各国の美術館や美術関係者などとのネットワークの強化や国際交流を促進するとともに、横浜独自の魅力的で質の高い美術文化を国内外に発信することにより、国際都市横浜の魅力とアイデンティティの確立に貢献する美術館。
- ・市民、学校、NPO、企業等の様々な立場や年代、属性を持つ人々と協働することにより、市民から親しまれ、市民が集う、地域に開かれた美術館。
- ・未来を担うこどもたちの創造性を育むため、地域の学校や大学などと連携した取組みを進め、文化芸術教育の中心的な役割を担う美術館。

沿革

昭和62年10月	運営組織として財団法人横浜市美術振興財団設立
昭和63年3月	建物竣工
9月	横浜美術館条例制定
平成元年2月	外構工事完了
3月25日	美術館開設(横浜博覧会施設として)
11月3日	横浜美術館条例施行・開館
平成14年4月	運営組織が財団法人横浜市文化振興財団と統合され、財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成18年4月	管理運営に指定管理者制度が導入され、財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。(2年間)
平成20年4月	横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント共同事業体が指定管理者となる。(5年間)
平成21年7月	財団法人横浜市芸術文化振興財団が公益法人として認可され、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団となる。
平成25年4月	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団が指定管理者となる。(10年間)

展覧会事業

概要

展覧会は美術館で実施されるさまざまな活動のなかでも、中心的な事業です。横浜美術館では、現在、おおむね次の3種類の展覧会を実施しています。

1つめは、企画展あるいは特別展と呼ばれる展覧会です。内外の美術館やコレクターなどから、一定のテーマに基づいて作品や資料を借用し展覧会を構成します。2つめは、コレクション展です。美術館が収集してきた美術品や資料をご覧いただく展覧会です。3つめは、「New Artist Picks」(NAP)という呼び名を持つ展覧会です。今後の活躍が期待される若いアーティストが、小企画スペースであるアート・ギャラリー1、グランドギャラリーやCafé小倉山など、館内のさまざまな場所を使って意欲的な作品を発表します。

企画展

横浜美術館は次のような基本方針により、年間3～4本、バラエティに富んだ内容で企画展を実施しています。平成元年の開館以来、これまでに116本の企画展が開催されました。

- 1 国際港都横浜にふさわしい世界的な視野の企画。
- 2 地域の人々が現代美術に親しみ、現代美術に対する理解を促すような企画。
- 3 横浜と日本写真史の関係を重視し、国際的視野における現代までの写真を多角的にとらえた企画。
- 4 近代日本の美術および横浜ゆかりの美術展。特に原三溪ゆかりの作家を重視しつつ、開港以来の洋画・日本画の流れを歴史的にとらえた企画。また、横浜出身または在住作家を中心に、横浜の美術史を多角的に紹介する企画。
- 5 建築、工芸、デザインなど生活に密着した分野の企画。

また、平成23年度からは横浜トリエンナーレを企画展事業のひとつとして位置づけています。
(平成28年度4展合計入場者数：232,462人)

コレクション展

当館では、4部屋の展示室を使って、年間2～3回の展示替えをおこない、コレクションを紹介しています。12,000点を越えるコレクションの中から、常時200～300点の作品を厳選して展示します。毎回テーマを設定することで、さまざまな角度からコレクションの魅力にアプローチをしています。当館の収集方針に基づき、分野ごとの特徴をわかりやすく展示する会期もあれば、全体を統一したテーマで構成し、分野を横断した展示を行うこともあります。

(平成28年度3展合計入場者数：250,261人)

New Artist Picks (NAP)

NAP(ナップ)は、New Artist Picksの頭文字を採った呼び名で、横浜美術館の学芸員が独自の視点で選出する国内外の新進アーティストによる小展覧会です。平成18年から進めてきた若手作家支援のプログラムが、平成25年から刷新され、新たなシリーズとして登場しました。年1回程度実施し、入場無料でご覧いただけます。

担当学芸員一押し、ユニークな活動を展開しつつある有望な若手アーティストをご紹介します。

(平成28年度入場者数：8,596人)



企画展1 富士ゼロックス版画コレクション×横浜美術館 複製技術と美術家たち—ピカソからウォーホルまで

この展覧会は、映画や写真印刷が普及し、誰もが複製を通して美術を楽しむことができる時代に、20世紀の欧米を中心とする画家や彫刻家を含む美術家たちが、どのような芸術ビジョンの下に作品をつくっていったのかをテーマに、富士ゼロックス版画コレクションと横浜美術館が所蔵する写真、版画、コラージュ、油彩画、彫刻等によって構成しました。写真発明以降、「複製技術」の発展・普及がもたらした芸術作品の危機的状況（ベンヤミン）に対する美術家たちの挑戦を、「写真の登場と大画家たちの版画」「普遍的スタイルを求めて」「変容のイメージ」「大量消費時代にむけて」「ゼログラフィーと美術家」の5章にまとめ、「複製技術の時代」である20世紀の美術史を、デジタルテクノロジーが高度に普及した今日の美術の前史として読み解こうとしました。

みなとみらいに研究拠点を置く富士ゼロックス株式会社からは、出品の約6割を借用し、協賛をいただいた他、スマートフォンを用いた無料の音声ガイドシステムや、市民および子どものアトリエでのワークショップで同社の技術提供を得、来館者に鑑賞と制作を通して複製技術と美術の関わりに触れていただく新たな試みを実現しました。

主催: 横浜美術館
後援: 横浜市
協賛: 富士ゼロックス株式会社
協力: 横浜高速鉄道株式会社、横浜ケーブルビジョン FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
企画協力: 横田茂ギャラリー
会期: 平成28年4月23日(土)~6月5日(日)
 *5月5日(木・祝)、6月2日(木)は開館、5月6日(金)は休館
 5月27日(金)は20時30分まで夜間開館
開催日数: 39日
観覧料: 一般1,300円、大学・高校生700円、中学生400円
 小学生以下無料、65歳以上1,200円
 *5月5日(木・祝)は無料
 6月2日(木)は一般・大学生500円(横浜美術館券売所で購入の場合に限る)、高校生以下無料

入場者数: 21,787人

出品作品数: 510件

出展作家: 62人および書籍で雑誌の表紙絵・挿絵を手がけた作家多数

- | | |
|-------------------|-------------------|
| アジェ、ウジェーヌ | デュシャン、マルセル |
| アダムソン、ロバート | 戸村 浩 |
| 荒川修作 | ナダール |
| アルプ、ハンス(ジャン) | 野村 仁 |
| アンドレ、カール | パウマイスター、ヴィリ |
| ヴィヨン、ジャック | ピカソ、パブロ |
| ウォーホル、アンディ | ピカビア、フランシス |
| ヴォルス | ヒル、デイヴィッド・オクタヴィウス |
| エヴァンス、フレデリック・H | ファイニンガー、ライオネル |
| エリュアール、ポール | フォルデンベルゲ=ギルデヴァルト、 |
| エルンスト、マックス | フリードリヒ |
| オルデンバーグ、クレス | ブラウン・ジュニア、エリファレット |
| ガボ、ナウム | ブラック、ジョルジュ |
| 河口龍夫 | ブロースフェルト、カール |
| カンティンスキー、ヴァシリイ | 星野高志郎 |
| 岸田良子 | ホフマン、ハインリヒ |
| キャメロン、ジュリア・マーガレット | マイブリッジ、エドワード |
| クレイ、パウル | 前田信明 |
| コーネル、ジョゼフ | マザウエル、ロバート |
| 斎藤義重 | マツタ、ロベルト |
| ザンダー、アウグスト | マティス、アンリ |
| ジャッド、ドナルド | マルクーシ、ルイ |
| シュヴィッターズ、クルト | マン・レイ |
| シュレンマー、オスカー | ミロ、ジョアン |
| ジョーンズ、カルヴァート | ムナリー、ブルーノ |
| ジョーンズ、ジャスパール | モホイ=ナギ、ラースロー |
| セラ、リチャード | 山口勝弘 |
| 高松次郎 | 山崎 博 |
| タトリン、ウラジーミル | 吉田克朗 |
| タルボット、ウィリアム・ヘンリー・ | リクテンスタイン、ロイ |
| フォックス | リシツキー、エル |
| タンギー、イヴ | ロトチェンコ、アレクサンドル |

カタログ: 208頁

発行: 有限会社東京パブリッシングハウス
編集: 有限会社東京パブリッシングハウス
執筆: 中村尚明「複製技術時代の美術家たち—美術の装置一式をめぐって」
 柿木伸之(広島市立大学国際学部准教授)
 「切断からの像—ベンヤミンとクレイにおける破壊と構成—」
 成相 肇(東京ステーションギャラリー学芸員)
 「ゼログラフィック・ラヴ」



ポスター



チラシ



カタログ

広報印刷物デザイン
 アートディレクター: 浅葉 弾、石原千明
 デザイナー: 石原千明

撮影: 加藤 健 (P.10 ❖ 除く)



企画展2 メアリー・カサット展

印象派を代表する米国人女性画家、メアリー・カサット(1844-1926)の、日本では35年ぶりとなる回顧展を開催しました。カサットの生涯を辿るように、「1.画家としての出発」「2.印象派との出会い」「3.新しい表現、新しい女性」という3章で展覧会を構成し、画業の初期から晩年までの油彩画やパステル画、版画の代表作に加え、エドガー・ドガ、ベルト・モリゾなど交流のあった画家たちの作品、画家が愛した日本の浮世絵版画や屏風絵なども併せて109点を展覧しました(カタログには京都会場出品作品も含め112点を所収)。また、画家の言葉を壁面に掲出し、女性画家のパイオニアとして生きたカサットの人間性も紹介しました。

会期中は画家と作品への理解を促す教育普及活動にも力をいれました。ホワイエにスタディー・コーナーを作り、銅版画の技法解説パネルとともに刷り見本を展示した他、タッチパネル「見どころルーペ」を設置し、作品の部分を拡大して詳しく解説しました。また、小中学生向けにジュニアガイドを作成し、横浜市内および首都圏の小中学校に配布し、ウェブサイトからのダウンロードも可能にしました。幼児向けには、NHKとの共催でEテレの番組「ざわざわ森のがんこちゃん」と連携した親子鑑賞会を実施しました。更に、学芸員によるギャラリートークや市民のアトリエによる多色銅版画の刷りのデモンストレーションなど一般向けの普及事業を行う一方で、アメリカからカサット研究者を招いての講演会や、国内外の研究者によるシンポジウムを開催するなどして最先端の学術研究を紹介し、専門家からも一定の評価を得ました。



ポスター



チラシ



カタログ

主催：横浜美術館、NHK、NHKプロモーション、読売新聞社
後援：横浜市
助成：駐日アメリカ合衆国大使館、テラ・アメリカ美術基金
協賛：大日本印刷
協力：全日本空輸、日本貨物航空、横浜高速鉄道株式会社、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
会期：平成28年6月25日(土)-9月11日(日)
 *8月11日(木・祝)は開館
 9月2日(金)は20時30分まで夜間開館

開催日数：69日

観覧料：一般1,600円、大学・高校生1,100円、中学生600円
 小学生以下無料、65歳以上1,500円

入場者数：123,972人

出品作品数：112件(横浜会場は109件)

出展作家：12人

カサット、メアリー
 葛飾北斎
 喜多川歌麿
 喜多川相説
 ゴンザレス、エヴァ
 サーティン、エミリー
 ドガ、エドガー
 ピサロ、カミーユ
 ブグロー、エリザベス・ジェーン・ガードナー
 ブラックモン、マリー
 マクモニーズ、メアリー・フェアチャイルド
 モリゾ、ベルト

カタログ：216頁

発行：NHK、NHKプロモーション
 編集：横浜美術館、京都国立近代美術館、NHK、NHKプロモーション
 執筆：ナンシー・モウル・マシューズ(ウィリアムズ・カレッジ美術館・ユニー・プレnderガスト名誉主席学芸員および名誉講師)
 「メアリー・カサット—ある女性アーティストの成功譚」
 沼田英子「メアリー・カサットと日本美術—あふれる愛の源泉」
 パメラ・A・イヴインスキー(美術史家)
 「メアリー・カサット—学生からサロンの画家へ、そして印象派の画家へ」
 マーク・ローゼン+スーザン・ピンスキー(美術商 [印象派および近代美術])
 「メアリー・カサット—ユニークな版画家」
 内山淳子
 「シカゴ万国博覧会 [女性館] における東西の出会い—メアリー・カサットと渡辺幽香」
 牧口千夏(京都国立近代美術館主任研究員)
 「カサットによる、アメリカのための近代美術コレクション—カサットの手紙から」



ジュニアガイド

広報印刷物デザイン：AKANE DESIGN

カタログデザイン：馬面俊之

撮影：©THE YOMIURI SHIMBUN



企画展3 BODY/PLAY/POLITICS

本展では、人間の身体や集団としての行動、超自然的な存在など、歴史を通じて作り上げられた身体が生み出すイメージの数々をモチーフに、それぞれの角度から作品化していく現代の作家たち6名の作品を紹介しました。タイトルは、人間の身体を表すと同時に集団や塊という意味をもつBODYと、社会の中での役割を演じるという意味でのPLAY、社会形成のために人が他者を行う関係性構築、すなわち「人間の政治性」を表すPOLITICSの組み合わせからなります。

大航海時代以来のアフリカとヨーロッパの関係性に着目した作品を出品したインカ・シヨニバレMBE。東南アジア帯に伝わる女性の幽霊をモチーフに、現代のマレーシアにおける女性たちの姿を映像で描き出したイー・イラン。火と光のイメージに、タイ東北部の歴史や拮抗する力の存在を重ねあわせたアピチャッポン・ウィーラセタクン。都市を駆け抜けるオートバイを身体と血流に見立てるようなインスタレーションを制作したウダム・チャン・グエン。また日本からは石川竜一が捉えた現代日本に暮らす人々のポートレートと、戦後横浜を舞台に、近代ポティビルディングに隠された身体観に言及した新作を発表した田村友一郎が出品しました。

本展は、横浜赤レンガ倉庫1号館が主催するパートナー・プロジェクト「横浜ダンスコレクション2017」とテーマを共有。また、黄金町エリアマネジメントセンターと協働した「アジア・アートウィーク フォーラム」を開催するなど、近隣施設との連携事業を展開しました。

*9月30日(金)18時30分より特別協賛の寺田倉庫主催による特別プレビュー&レセプションを実施し、企業と展覧会の新たな協働を果たしました。

- 主催:** 横浜美術館
- 後援:** 横浜市
- 助成:** 芸術文化振興基金
- 特別協賛:** 寺田倉庫
- 協力:** 横浜高速鉄道株式会社、横浜ケーブルビジョン FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
- プロジェクト・パートナー:** 横浜赤レンガ倉庫1号館 *第50回アジア開発銀行年次総会横浜開催連携事業
- 会期:** 平成28年10月1日(土)-12月14日(水)
*11月3日(木・祝)は開館、11月4日(金)は休館
10月28日(金)は20時30分まで夜間開館
- 開催日数:** 65日
- 観覧料:** 一般1,500円、大学・高校生1,000円、中学生600円
小学生以下無料、65歳以上1,400円
*11月3日(木・祝)は無料
- 入場者数:** 20,227人
- 出品作品数:** 12件51点
- 出展作家:** 6人
アピチャッポン・ウィーラセタクン
イー・イラン
石川竜一
インカ・シヨニバレMBE
ウダム・チャン・グエン
田村友一郎
- カタログ:** 224頁
発行: モ・クシュラ株式会社
編集: 大谷薫子(モ・クシュラ株式会社)
執筆: 木村絵理子
「BODY/PLAY/POLITICS—身体は歴史を引き受ける—」



ポスター



チラシ

広報印刷物・カタログデザイン
TAKAIYAMA Inc.

撮影: Yuri Manabe (P.14) ✨
田村友一郎 (P.14) ✨

図版クレジット: 左上から右下へ
Credits: from top left to bottom right
©Yinka Shonibare MBE, ©Yee I-Lann,
©UuDam Tran Nguyen, ©Ishikawa Ryuichi,
©Tamura Yuichiro



カタログ



企画展4 篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN

日本を代表する写真家のひとり、篠山紀信の50余年にわたる膨大な仕事の中から、写真127点を大型パネルに仕立てて美術館の空間に展示しました。「写真力と空間力のバトル」のコンセプトの下に、これまで雑誌や写真集などで発表された作品を写真家が自ら選び、美術館の展示室を意識してそれぞれにメートル単位の大きさを与え、新たな分類で配置することで、鑑賞者に写真との豊かな対話を促す意欲的な企画でした。

内容は、有名人の肖像を集めた「GOD 鬼籍に入られた人々」と「STAR すべての人々に知られる有名人」、独自のパノラマ写真シノラマを中心とした「SPECTACLE 私たちを異次元に連れ出す夢の世界」、写真古来のテーマであるヌードでまとめた「BODY 裸の肉体一美とエロスと闘い」、ドキュメント性の高い「ACCIDENTS 2011年3月11日一東日本大震災で被災された人々の肖像」の5つのセクションで構成されました。

巡回展ながら、横浜特別出品6点を加え、当館独自の解説付きハンドアウトリスト、学芸員によるギャラリートーク(3回)、学芸員ブログ(7回)等によりオリジナリティーと来館者サービスに努め、60年代以降篠山写真に親しんだ世代からデジタル写真世代まで、幅広い層のご来館をいただきました。

主催: 横浜美術館、読売新聞社、日本テレビ放送網美術館連絡協議会
後援: 横浜市
協賛: ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜
協力: 松竹株式会社、横浜高速鉄道株式会社、横浜ケーブルビジョン、FMヨコハマ、首都高速道路株式会社
企画協力: 後藤繁雄事務所+ G/P gallery
会期: 平成29年1月4日(水)-2月28日(火)
 *1月5日(木)、2月23日(木)は開館
 2月23日(木)は16時まで開館
 2月24日(金)は20時30分まで夜間開館

開催日数: 50日
観覧料: 一般1,500円、大学・高校生900円、中学生600円、小学生以下無料、65歳以上1,400円
入場者数: 66,476人
出品作品数: 129件
出展作家: 1人
 篠山紀信

カタログ: 208頁
 発行: 株式会社読売新聞東京本社
 編集: 後藤繁雄
 執筆: 桜井 武(熊本市現代美術館 館長)「篠山紀信の写真の世界」
 福士 理(東京オペラシティ アートギャラリー シニア・キュレーター)
 「駆動する永久機関 篠山紀信の戦い」
 桐原 浩(新潟県立万代島美術館 業務課長・学芸員)
 「[写真力]の凄み」

ハンドアウトリスト: 8頁
 発行: 横浜美術館
 編集: 横浜美術館
 執筆: 中村尚明「美術館で[体感する] 篠山紀信の写真」



ポスター



チラシ



カタログ



ハンドアウトリスト



広報印刷物・カタログデザイン
 中島英樹(中島デザイン)

ハンドアウトリストデザイン: 峯石景子

撮影: 加藤 健(P.16 ♡除く)



横浜美術館コレクション展 2016年度第1期 **しなやかさとたくましさ**
—横浜美術館コレクションに見る女性の眼差し
アメリカ写真の展開：1860年代-1940年代

第1期は、「カサット展」に連動させ、「しなやかさとたくましさ—横浜美術館コレクションに見る女性の眼差し」と題して女性アーティストの活躍に焦点を当て、計184点の作品を5セクションで構成しました。

女性洋画家の草分け的存在、渡辺幽香は、五姓田芳柳(初代)の娘で、草創期の洋画家、五姓田義松の妹という恵まれた環境も手伝い、絵画制作への強い意欲で画家となりました。幽香は、メアリー・カサットが世界コロンプス博覧会(1893年、シカゴ)で壁画を描いた婦人館に、日本を代表して、現在横浜美術館が所蔵する《幼児図》を出品しました。本展では五姓田派の作品と併せて幽香の生きた時代の作品群を、見どころの一つとしました。また、ヘレン・ハイドら海外女性作家の作品からカサットの母子像を想起させるセクションを設けました。さらに、戦後日本の美術界において女性たちが、特有の美意識で自らの表現を追究し、人としてたくましく生き抜く力強さとしなやかさを作品に託した点に着目し、江見絹子、桂ゆき等の油彩画から、常盤とよ子の写真、片岡球子、荘司福等の日本画、熊井恭子の立体などまで、1950年代から今日に至る多彩な表現を紹介しました。一方、写真展示室では、アメリカ出身のカサットに因み、1860年代から1940年代までのアメリカ写真の展開を72作品で構成し、ハワイエなどの彫刻と合わせて、「複製技術と美術家たち展」期間中(平成28年4月23日-6月5日)は合計200点、「カサット展」期間中(平成28年6月25日-9月11日)は合計203点を展示しました。

展示室前ハワイエで開催した遠藤彰子、内田あぐり両氏によるアーティスト・トークは、定員を大きく超える人気を博しました。

しなやかさとたくましさ

—横浜美術館コレクションに見る女性の眼差し

- 1 近代日本洋画黎明期に生きる：渡辺幽香とその周辺
- 2 コレクションに見る海外の女性作家たち
- 3 しなやかさとたくましさ—戦後を歩んだ女性作家たち
- 4 流派を超えて—現代の表現から
- 5 日本画に見るそれぞれの眼差し

アメリカ写真の展開：1860年代-1940年代

イサム・ノグチと近代彫刻

会 期：平成28年4月23日(土)-9月11日(日)

* 休室：平成28年6月6日(月)-6月24日(金)

5月5日(木・祝)、6月2日(木)、8月11日(木・祝)は開館

5月6日(金)は休館

5月5日(木・祝)は無料

開催日数：108日

*「複製技術と美術家たち展」期間 39日

「カサット展」期間 69日

入場者数：154,061人

*「複製技術と美術家たち展」期間 24,628人

「カサット展」期間 129,433人

出品作品数：「複製技術と美術家たち展」期間 200件

「カサット展」期間 203件

出展作家：「複製技術と美術家たち展」期間 68人

「カサット展」期間 71人

しなやかさとたくましさ

—横浜美術館コレクションに見る女性の眼差し

生田丹代子

石内 都

上村松園

内田あぐり

江見絹子

遠藤彰子

岡本彌壽子

奥山民枝

小倉遊亀

オッペンハイム、メレット

片岡球子

桂 ゆき

鎌木清方

川久保 玲

川崎麻児

北 久美子

熊井恭子

五姓田芳柳

伝、五姓田芳柳

五姓田義松

小西真奈

佐野ぬい

篠田桃紅

嶋田しづ

荘司 福

高橋由一

竹中恵美子

辰野登恵子

田中敦子

蔡 佳蕙(ツァイ・チャウエイ)

常盤とよ子

中尾祐子

中島清之

ハイド、ヘレン

福田美蘭

本田希枝

松井冬子

水谷愛子

ミュンター、ガブリエーレ

森田やすこ

山中雪人

山村耕花

吉田千鶴子

ラム、バーサ

ワグマン、チャールズ

渡辺文三郎

渡辺幽香

アメリカ写真の展開：

1860年代-1940年代

アダムス、アンセル

アボット、ベレニス

ウェストン、エドワード

オサリヴァン、ティモシー・H

カニンガム、イモーゼン

ケゼビア、ゲルトロッド

スタイクン、エドワード

スティーグリッツ、アルフレッド

ストランド、ポール

テレシ、マヤ

バーク=ホワイト、マーガレット

ホワイト、クラレンス・H

ワトキンス、カールトン・E

イサム・ノグチと近代彫刻

アルプ、ハンス(ジャン)*

オルデンバーグ、クレス*

テ・キリコ、ジョルジオ

ザツキン、オシツブ

ダリ、サルバドール

ノグチ、イサム

ブランクーシ、コンスタンティン

マグリット、ルネ

マツソン、アンドレ

ミロ、ジョアン*

湯原和夫

*「カサット展」期間のみ出展



横浜美術館コレクション展 2016年度第2期 **描かれた横浜／イメージをかさねる**
風を聴く—自然の気配をうつす美術／かたちの変容

第2期は、4つのテーマで構成しました。

「描かれた横浜」は、教育プロジェクトチームが担当し、各時代の作家たちが描いた横浜の風景を、地図パネルと共に展示しました。会期中には、描かれた場所をボランティアが案内する街歩きのプログラムも行いました。

「イメージをかさねる」では、作品に織りこまれた、さまざまな「かさなり」をキーワードに、作品の見方や感じ方を深めることを意図しました。古今東西の名画を基に、その「オリジナル」のイメージを揺るがし、新しい絵画の見方を促す福田美蘭の《風神雷神図》《山水図》など、近年の新収蔵作品も紹介しました。社会的な意味づけにとらわれず純粋に「かたち」を見ることは可能かという問いを提示する中原浩大の《ConS:KConWS_6p》(6点組)を、吹き抜けのある円形の展示室2に展示し、作品の持つ強い吸引力とダイナミックな空間との呼応が幅広い層からの反響を得ました。

「風を聴く—自然の気配をうつす美術」では、草むらを吹く風を表した熊井恭子の立体作品《叢生'99》を展示室の中央に据え、同作と響き合うように自然をモチーフとする絵画を特集しました。

写真展示室の「かたちの変容」では、実験的な技法によって日常の事物を非日常的なイメージへと転換させた20世紀初頭のダダやシュルレアリスムの写真や、自らの身体をさまざまな姿に変容させるルーカス・サマラスや森村泰昌のセルフポートレートなどを展示しました。

描かれた横浜

- 1 新しい街の建設—みなとみらい21地区
- 2 港の風景—海岸通り・山下公園
- 3 丘の上の風景—一本牧・山手
- 4 暮れなずむ風景—石渡江逸のまなざし

イメージをかさねる

- 1 顔
- 2 風景
- 3 伝統的な図像
- 4 円

風を聴く—自然の気配をうつす美術

かたちの変容

- 1 フォトグラム、フォトモンタージュ
- 2 ディストーション、ソラリゼーション
- 3 変身／変容する身体
- 4 ピンスクリーンによるアニメーション
アレクサンドル・アレクセイエフ《禿山の一夜》

イサム・ノグチと近代彫刻

会 期：平成28年10月1日(土) - 12月14日(水)
 *11月3日(木・祝)は開館、11月4日(金)は休館
 10月28日(金)は20時30分まで夜間開館
 11月3日(木・祝)は無料

開催日数：65日

入場者数：26,243人

出品作品数：183件

出展作家：75人

描かれた横浜

石渡江逸
 岩崎貴宏
 岩田榮吉
 織田勲潮
 小茂田青樹
 金村 修
 川上澄生
 國領経郎
 桜庭彦治
 島田四郎
 高間惣七
 武林敬吉
 田中惟之
 田村彩天
 中島清之
 中西利雄
 伝・ハイネ、ベーター・B・W
 林保次郎
 原田正路
 兵藤和男
 松樹路人
 横尾忠則
 吉田 博

イメージをかさねる

エルンスト、マックス
 大岩オスカル
 オルデンバーグ、クレス
 齋藤典彦
 ダイン、ジム
 タルボット、ウィリアム・ヘンリー・
 フォックス
 蔡 佳葳(ツァイ・チャウエイ)
 デルヴォー、ポール
 中原浩大
 ノグチ、イサム
 ピカソ、パブロ
 福田美蘭
 マグリット、ルネ
 マン・レイ
 水木 壘
 柳 幸典

風を聴く

一自然の気配をうつす美術
 伊藤 彬
 今村紫紅
 鎌木清方
 川合玉堂
 工藤甲人
 熊井恭子
 近藤弘明
 下村観山
 須田悦弘
 武田州左
 東山魁夷
 松林桂月
 李 禹煥(リ・ウーファン)

かたちの変容

アレクセイエフ、アレクサンドル/
 パーカー、クレア
 瑛九
 恩地孝四郎
 ケルテス、アンドレ
 サマラス、ルーカス
 シャーマン、シンディ
 トレス、アーサー
 ハイエク=ハルケ、ハインツ
 ハウスマン、ラウル
 ブラント、ビル
 ボワファール、ジャック=アンドレ
 マン・レイ
 モホイ=ナギ、ラースロー
 森村泰昌
 ロー、フランツ

イサム・ノグチと近代彫刻

アルプ、ハンス(ジャン)
 岩崎貴宏
 テ・キリコ、ジョルジオ
 ザツキン、オシップ
 ダリ、サルバドール
 ノグチ、イサム
 ブランクーシ、コンスタンティン
 マグリット、ルネ
 マツソン、アンドレ
 ミロ、ジョアン
 湯原和夫



横浜美術館コレクション展 2016年度第3期 I 昭和の肖像 —写真でたどる「昭和」の人と歴史
II “マシン・エイジ”の視覚革命 —両大戦間の写真と映像

同時期開催の「篠山紀信展」にあわせ、大規模な「写真」の特集展示をおこないました。

写真は、横浜美術館の収集活動における大きな柱の一つです。本展では、当館が所蔵する4,200点余の写真作品から、二つのテーマのもとに約430点を選び、他分野の作品や当館美術情報センター所蔵の雑誌類とあわせて展示しました。コレクション展全4室を通して写真作品を中心に構成するのは、当館として初めての試みです。

第I部「昭和の肖像 —写真でたどる「昭和」の人と歴史」では、60年余の長きにわたった「昭和」の時代を写真作品によって振り返りました。昭和史に名を留める各界の人物たちのポートレート、そして昭和という時代そのものを映し出した風景・風俗写真により、現在の日本の社会構造と生活環境の基盤を形づくった「激動の時代」の歩みをたどりました。

第II部「“マシン・エイジ”の視覚革命 —両大戦間の写真と映像」では、20世紀前半の欧米における写真表現に焦点をあてました。「機械の眼」でしか表現しえない先鋭的なヴィジョンが各国で同時多発的に生み出されたこの時代の写真芸術について、当時まだ生まれて間もない視覚メディアであった「映画」をはじめ、接点を有する他分野の作品も交えて紹介しました。

I 昭和の肖像 —写真でたどる「昭和」の人と歴史
II “マシン・エイジ”の視覚革命 —両大戦間の写真と映像
イサム・ノグチと近代彫刻



チラシ



会 期：平成29年1月4日(水)-2月28日(火)
*1月5日(木)、2月23日(木)は開館
2月23日(木)は16時まで開館
2月24日(金)は20時30分まで夜間開館

開催日数：50日

入場者数：69,957人

出品作品数：488件(関連資料を含む)

出展作家：95人

I 昭和の肖像
—写真でたどる「昭和」の人と歴史

- 秋山庄太郎
- 荒木経惟
- 安藤不二夫
- 石川真生
- 奥村泰宏
- 金村 修
- カルティエ=ブレッソン、アンリ
- 木村伊兵衛
- キャバ、ロバート
- 桑原甲子雄
- 渋谷龍吉
- 須田一政
- 常盤とよ子
- 土門 拳
- 中川一夫
- 中平卓馬
- 浜口タカシ
- 濱谷 浩
- 林 忠彦
- 原田正路
- 福田勝治
- 福原路草
- 藤本四八
- 堀 不佐夫
- 緑川洋一
- 森村泰昌
- 師岡宏次
- 八木 治

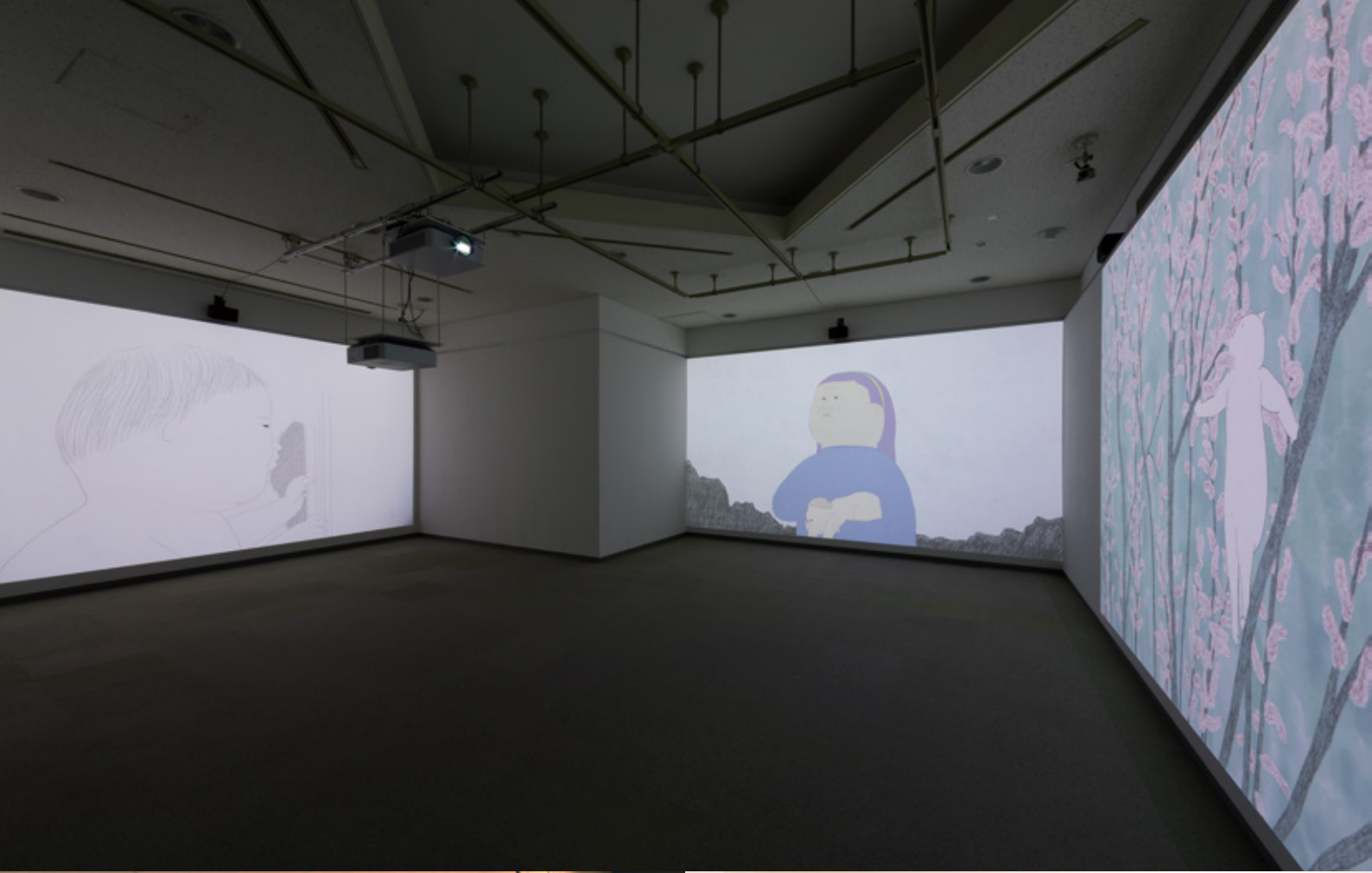
- ザンダー、アウグスト
- シーラー、チャールズ
- シスキンド、アーロン
- シュヴィッターズ、クルト
- シュトゥディオ・リングル・ウント・ピート
- シュミット、ヨースト
- フォルテンベルゲ=ギルデヴァルト、フリードリヒ
- スタイクン、エドワード
- スタイナー、ラルフ
- スティーグリッツ、アルフレッド
- ストランド、ポール
- タトリン、ウラジミール
- ツヴァルト、ピエト
- デュシャン、マルセル
- ハイエク=ハルケ、ハインツ
- バイヤー、ヘルベルト
- ハウスマン、ラウル
- ファイニンガー、アンドレアス
- ファイニンガー、T・ルクス
- フィッティング、オスカー
- フルマン、エルンスト
- ブラッサイ
- ブランクーシ、コンスタンティン
- ブリュギエール、フランシス
- フローリー、ロバート
- ペーターハンス、ヴァルター
- ヘプナー、マルタ
- ヘルメール、ハンス
- マン・レイ
- マンツ、ヴェルナー
- モデル、リゼット
- モホイ=ナギ、ラーズロー
- ライ、レン
- ラルティエグ、ジャック=アンリ
- リヒター、ハンス
- レンガー=パッチュ、アルベルト
- ロー、フランツ
- ローテ、ヴェルナー
- ロトチェンコ、アレクサンドル

II “マシン・エイジ”の視覚革命
—両大戦間の写真と映像

- アイゼンスタット、アルフレッド
- アボット、ベレニス
- アルプ、ハンス(ジャン)
- アルント、ゲルトルーテ
- ウィーザー
- ヴェルトフ、ジガ
- ヴォルス
- ウンボ
- エヴァンズ、ウォーカー
- エールハルト、アルフレート
- エッグリング、ヴィキング
- エルンスト、マックス
- カルティエ=ブレッソン、アンリ
- カンティンスキー、ワシリー
- キャバ、ロバート
- クレイ、パウル
- クレール、ルネ
- ケスティン、エドムント
- ケルテス、アンドレ
- コッポラ、ホラチオ

イサム・ノグチと近代彫刻

- 岩崎真宏
- オルデンバーク、クレス
- サツキン、オシップ
- ダリ、サルバドール
- テ・キリコ、ジョルジオ
- ノグチ、イサム
- マグリット、ルネ
- マッソン、アンドレ
- ミロ、ジョアン
- 湯原和夫



New Artist Picks 和田淳展 | 私の沼

当館では、将来活躍が期待される若手作家を紹介する展覧会「New Artist Picks (NAP)」を、アニュアル形式で実施しています。平成28年度は、アニメーション作家・和田淳(1980年生まれ)の個展を開催しました。

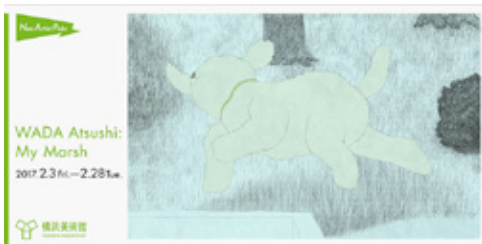
和田は2002年頃から、人間や動物などのキャラクターが脈絡を欠いた物語を紡ぎ出す短編アニメーションの制作を続けています。細い線と淡い色調による作画、儀式めいた行為の反復、そこに差し挟まれる「間」といった要素があいまって、意味不明にもかかわらず不思議な心地よさを喚起する、独創的な「和田ワールド」が創出されます。

公立美術館での初めての個展となる本展において、和田は5つの画面で構成される初のインスタレーション作品《私の沼》を発表しました。沼とその周辺を舞台として、それぞれのキャラクターの所作が画面をまたいで連関し合いながら、緩やかな「物語」を紡ぎあげていきます。形式・内容の両面で、これまでの和田の短編アニメーションとは異なる趣向を随所に垣間見せる作品となりました。

あわせてCafé小倉山では旧作のモニター上映と原画の展示をおこない、また会期中の関連イベントとして、和田の短編アニメーション計9作品を作家の解説付きで一挙上映しました。

主催: 横浜美術館
会場: アートギャラリー1、Café小倉山
協賛: 株式会社 資生堂
協力: 東京藝術大学大学院映像研究科、Café小倉山
会期: 平成29年2月3日(金)-2月28日(火)
 *2月23日(木)は16時まで開館
 2月24日(金)は20時30分まで夜間開館

開催日数: 24日
観覧料: 無料
入場者数: 8,596人
出品作品数: 5件
出展作家: 1人
 和田 淳



DM



リーフレット

広報印刷物デザイン: 阿部太一(GOKIGEN)

撮影: 山中慎太郎(Qsyum!), P.24 ❖除く

調査研究・普及活動（個人）

紀要

横浜美術館研究紀要

第18号, 2017年

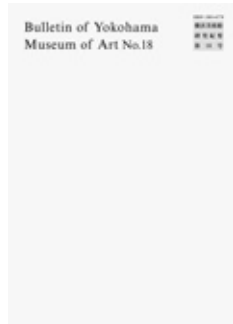
68頁

発行日:平成29年3月31日(金)

発行部数:500部

掲載論文:

- ・「石田尚志の横浜美術館での滞在制作(2006-2007)について—作業プロセスの記述と、完成作のタイムラインとの照合」松永真太郎
- ・「独立独歩のあゆみ—画家・平野杏子インタビュー記録〔後編—1980～現在まで〕」齋藤里紗
- ・「バブロ・ピカソ《ひじかけ椅子で眠る女》をめぐって」片多祐子
- ・「フレデリック・クリスチャン・ルイス『ミュージアム・クロード』研究ノート」金井真悠子



収蔵品目録

収蔵品目録2015年(平成27年度)

16頁

発行日:平成28年11月30日(水)

発行部数:500部



普及活動(個人)

◎執筆・寄稿

逢坂恵理子

- ・「昨日読んだ文庫」毎日新聞書評欄, 2016年5月29日(日)
- ・「大巻伸嗣レゾネ『大巻伸嗣 Memorial Rebirthシリーズ作品解説』現代企画室, 2016年
- ・「子供たちの文化芸術に対する回路を開く」『中等教育資料11月号』学事出版, 2016年10月

柏木智雄

- ・「安田毅彦展レビュー」東京国立近代美術館ニュース『現代の眼』618号, 2016年6-7月号
- ・「下村観山『長安一片月』松岡美術館図録『わたしの好きなシロカネ・アート』, 2016年
- ・「ミュージアムへ行こう!横浜美術館」『理大 科学フォーラム』東京理科大学出版会, 2016年11月号
- ・「震災前夜のヨコハマ・ナイト」『季刊誌横濱』神奈川新聞社, 2016年秋号 vol.54
- ・「國領経郎—孤愁の心象」『季刊誌横濱』神奈川新聞社, 2016年秋号 vol.54
- ・「柏木智雄・門井慶喜[対談]「明治維新一激動期のソフトランディング」月刊『潮』潮出版社, 2017年3月号

沼田英子

- ・「メアリー・カサット展」『美術の窓』生活の友社, 2016年2月
- ・「話題の展覧会より メアリー・カサット」『版画芸術』阿部出版, 第172号, 2016年6月
- ・「メアリー・カサットの作品と生き方」『新婦人しんぶん』, 2016年6月16日(木)号
- ・「ぎやらいいモール」『読売新聞』, 2016年7月12日(火)
- ・「新しい時代の扉を開いた印象派の画家[メアリー・カサット展]」『ミセス』文化出版局, 2016年7月号

関 淳一

- ・「豊かな教育の広がり—鑑賞や美術体験を深める教育普及プログラム」『初等教育資料10月号』文部科学省初等中等教育局教育課程課, 2016年9月
- ・「周辺も魅力いっぱい 横浜美術館で楽しいひとときを」『季刊誌横濱』神奈川新聞社, 2016年秋号 vol.54

中村尚明

- ・「裸にされた写真たち」『篠山紀信展 写真力』読売新聞神奈川版, 2017年2月14日(火)

端山聡子

- ・「市街地アート探索—横浜のまちなかにもアートがいっぱい!」『季刊誌横濱』神奈川新聞社, 2016年秋号 vol.54
- ・「解体され、消え去るものへのまなざし」『季刊誌横濱』神奈川新聞社, 2016年秋号 vol.54
- ・「作品解説(9点)」『季刊誌横濱』神奈川新聞社, 2016年秋号 vol.54

襟川文恵

- ・「湘南スタイル magazine」エイ出版, 2016年8月号第66号, 2016年11月号第67号, 2017年2月号第68号

木村絵理子

- ・「アーティスト・インタビュー ザイ・クーニン」『BT/美術手帖』美術出版社, 2016年9月号
- ・「照沼敦朗, 作家推薦文『現代美術の展望 VOCA展2017』図録, 2017年
- ・「The catalytic action of Takashi Kawashima,」『Volcanoes and The Sun: Takashi Kawashima』, GP Gallery, 2016
- ・「手で触れると見えなくなる—高嶺格ディレクション「てさぐる」に関する覚書—」『高嶺格ディレクション「てさぐる」展』図録, 秋田公立美術大学, 2017年
- ・「岩井優展『踊り、食べ、排便する』に見る戦後日本の新習慣」『岩井優展「習慣のとりこ」』図録, 秋田公立美術大学, 2017年

・「現代美術の歩き方 今月の1点 川久保ジョイ」『美術の窓／ARTcollectors』生活の友社, 2017年2月号

片多祐子

・「下町の生活に古き良き横浜の郷愁を覚えた版画家・石渡江逸」『季刊誌横濱』神奈川新聞社, 2016年秋号 vol.54

大澤紗蓉子

・「ダンサーの肉体美 克明に」『篠山紀信展 写真力図』読売新聞神奈川版, 2017年2月16日(木)

長谷川珠緒

・「暗い駐車場 光で演出」『篠山紀信展 写真力図』読売新聞神奈川版, 2017年2月15日(水)

日比野民蓉

・百瀬文, イム・フンスン「交換日記」(国立新美術館六本木アートナイト 2016関連プログラム) リーフレットのエッセイ執筆および映像作品字幕の韓国語から日本語への翻訳
・黄ピンナ「韓国近代画壇の『南画』受容と在朝鮮日本人画家」(『美術研究』東京文化財研究所, 419号, 2016年) の韓国語から日本語への翻訳

太田雅子

・作品解説(11点)『季刊誌横濱』神奈川新聞社, 2016年秋号 vol.54

河上祐子

・作品解説(9点)『季刊誌横濱』神奈川新聞社, 2016年秋号 vol.54

◎発表・講演会・シンポジウム

逢坂恵理子

・講演会「美術館が目指す教育活動と学校教育」平成28年度神奈川県中学校教育研究会美術科部会総会(横浜ブロック), 5月13日(金)
・シンポジウム・鼎談「福岡市美術館クロージング企画シンポジウム『これからの美術館』」福岡市美術館, 5月21日(土)
・講演会「アートの仕事=美術館編」『ハロー!ワーク展 自分らしく、仕事と暮らし』良品計画, 6月16日(木)
・シンポジウム・鼎談『地域の拠点となる博物館~対応力を高めた個性の光る博物館へ』平成28年度博物館長研修, 文部科学省, 7月15日(金)
・講演会「記念講演会」東京都庭園美術館『クリスチャン・ボルタンスキー アニマタスーさざめく亡霊たち』関連イベント, 日仏会館, 9月22日(木祝)
・シンポジウム「新しい美術館と写真-地域を活性化する役割」『相模原市総合写真祭 第16回フォトシティさがみはら記念シンポジウム』杜のホールはしもと, 10月15日(土)
・鼎談「国際の中の柳幸典」『柳 幸典~ワンダリングポジション』展トークシリーズ, BankArt1929, 10月16日(日)
・講演会「人間性を高める「美術」という贈り物」『第56回国際治療談話会総会』日本国際医学協会, 11月10日(木)
・シンポジウム・鼎談「新しい学びの場とは?」『森美術館国際シンポジウム「現代美術館は、新しい「学び」の場となり得るか?—エデュケーションからラーニングへ」セッション2』森美術館, 2月13日(月)

柏木智雄

・講演会「天心の弟子たち—横浜で描かれた日本画」岡倉天心市民研究会(岡倉天心横浜顕彰会), 横浜市開港記念会館, 8月20日(土)

沼田英子

・講演会「メアリー・カサットの人と作品の魅力」(カサット展関連講演会), 江東区砂町文化センター, 7月1日(金)・町田市立中央図書館, 8月6日(土)

・講演会「印象派の女性画家、メアリー・カサット」駒場松桜会(東京都立駒場高等学校同窓会), 7月2日(土)・16日(土)

帆足亜紀

・ゲストスピーカー「Aspiring to Expand and Extend: How Cultural Policy Has/Has Not Shaped the Contemporary Art Scene in Japan」『ジャーナリズム研究』(米国ペンシルバニア大学とのメディア・ジャーナリズム文化研究共同授業・集中講義), 東京大学大学院情報学環・学際情報学府, 6月23日(木)

八柳サエ

・発表「美術情報センターのこれまでと現在、これから」, 全国美術館会議 情報・資料研究部会 第46回部会, 2月15日(水)
・「ビブリオバトル」パトラー, 第18回図書館総合展有隣堂ブース, 11月10日(木)
・ビブリオバトル in 有隣堂 YBCグランドチャンプ大会2016, 3月5日(日)

内山淳子

・講演会「メアリー・カサットの人と作品の魅力」(カサット展関連講演会) 新宿歴史博物館, 7月2日(土)・くにたち市民芸術小ホール, 8月2日(火)

端山聡子

・発表「資源の蓄積と公開について—教育普及の視点から」, 全国美術館会議 情報・資料研究部会 第46回部会, 2月15日(水)
・発表「第12回全国若者・ひきこもり協同実践交流会 in 東京」, 3月5日(日)

木村絵理子

・鼎談「火山と太陽: 川島崇志」展トークイベント, GP Gallery, 7月31日(日)
・講演会 講談社クーリエジャポン編集部『「現代美術」の楽しみ方』, 12月8日(木)
・ゲストスピーカー「PLACEBO SOWAKA プラセボソワカ 作品と鑑賞の間にある力」展トーク, 横浜市民ギャラリーあざみ野, 3月5日(日)

金井真悠子

・講演会「メアリー・カサット 人と作品—展覧会へのいざない」(カサット展関連講演会), あきる野市中央公民館音楽堂, 8月24日(水)

◎非常勤講師等

逢坂恵理子

・横浜市立大学エクステンション講座「続・国際都市横浜のアートとまちづくり」, 11月26日(土)

柏木智雄

・京都造形芸術大学 通信教育学部和の伝統文化「絵画と日本文化b」10月9日(日)・10日(月祝)
・平成28年度武蔵野美術大学大学院修士課程日本画コース修了制作展・公開講評ゲスト講師, 3月11日(土)

関 淳一

・横浜市立大綱中学校進路学習「職業講話」, 7月15日(金)
・NPO コロンブスアカデミー「カナカツ秋の美術展」座談会作品講評等, 10月1日(土)
・横浜市立芹が谷中学校「2年生職業講話」, 1月17日(火)
・「横須賀市造形教育研究発表会・講演会」横須賀美術館, 1月25日(水)

帆足亜紀

・アーツイニシアティヴトウキョウ教育プログラムMAD2016「アート・シーンズ」コース, レクチャー及びファシリテーション, 4月26日(火), 5月

調査研究・普及活動（個人）

- 17日(火),6月24日(金),7月12日(火),10月4日(火)/レクチャー「国際展と美術館」,9月13日(火)
- 横浜市立大学エクステンション講座「国際都市横浜のアートとまちづくり」,5月21日(土)

八柳サエ

- 佐藤美術館「第25回奨学生美術展における『ポートフォリオを持って美術館へ行こう!』」,10月16日(日)

山崎 優

- 平成28年度神奈川県公立幼稚園・こども園新規採用教員研修講座「幼児の表現活動のあり方」,5月27日(金)
- 平成28年度磯子区保育士会研修会「3歳児から5歳児の造形活動の導入」,6月25日(土)
- 神奈川県私立幼稚園連合会 平成28年中堅教諭対象講習会,7月20日(水)
- 横浜市教育委員会・横浜市小学校区画工作教育研究会 第68回夏季実技研修会「造形・美術体験ワークショップ」,7月26日(火)・27日(水)
- 箱根幼児教育研究会技術研修会「年齢に応じた絵画指導について」箱根町立湯本幼児学園,10月31日(月)
- 横浜市特別支援学校教育研究会実技研修会「特別支援教育における造形・美術体験ワークショップ」,12月3日(土)

端山聡子

- 多摩美術大学「美術普及概論(前期)」[生涯学習概論R(後期)]「PBL II—24五感を刺激するワークショップ実践」, 通年
- 早稲田大学文学部「博物館教育論(学芸員夏季)」夏季集中,8月5日(金)・9日(火)
- 安曇野市美術館博物館連携事業実行委員会「学芸員研修」,11月29日(火)

松永真太郎

- 明治大学「デジタルコンテンツ特論2」研究制作作品の講評,1月23日(月)

岡崎智美

- 公益財団法人かながわ国際交流財団平成28年度社会教育・文化施設間連携事業第3回作業部会(研修)「美術館におけるインクルーシブデザインの先進事例『みんなの美術館プロジェクト』の紹介」関東学院大学関内メディアセンター,10月27日(木)

木村絵理子

- 共立女子大学「博物館学概論_02」,9月21日(水)-3月20日(月祝)
- 東京都・アーツカウンシル東京主催現代美術普及事業「TERA English」アーツカウンシル東京,11月9日(水)

市川靖子

- 平成28年度創造県おおいた推進事業人材育成プログラム「アートを社会のニーズに変える!『アートマネジメント講座・入門編』第5回」大分県立美術館,2月4日(土)

◎委員・審査員等

逢坂恵理子

- 文部科学省中央教育審議会専門委員(初等中等教育分科会)
- 東京国立近代美術館評議員(美術・工芸部会)
- 国立西洋美術館評議会評議員
- 地域創造理事
- 東京都現代美術館資料収蔵委員会委員
- 東京都若手芸術家育成施策に係る調査への協力
- 金沢21世紀美術館 美術館美術品収集委員
- 第27回UBEピエンナーレ選考委員

- 大阪市特別参与
- (仮称)大阪新美術館公募型設計競技審査評価会議委員
- 高松宮殿下記念世界文化賞アジア委員会推薦委員(絵画/彫刻部門)
- 鹿島美術財団理事
- 京都服飾文化研究財団評議員
- 第10回ヒロシマ賞受賞者選考審議会委員
- 第26回モンブラン国際文化賞 日本における審査員
- 第34回京都賞思想・芸術部門委員候補選定委員会委員

柏木智雄

- 東京国立近代美術館美術作品修理業務企画審査員
- 横須賀美術館運営評価委員会委員
- 東京国立近代美術館美術作品評価委員会委員

沼田英子

- 版画学会運営委員
- ジャポニスム学会理事

関 淳一

- 船橋市公園協会アンデルセン公園子ども美術館運営審議会委員

帆足亜紀

- 国際交流基金アジアセンター「アジア・文化創造協働助成プログラム」専門評価員
- アーツカウンシル東京外部評価委員
- 埼玉県立近代美術館協議会委員
- 川口市立アートギャラリー・アトリア「第6回公募新鋭作家展」審査員
- せんだいメディアテーク「せんだい・アート・ノード・プロジェクト」アドバイザー
- 文化庁「文化芸術の海外発信拠点形成事業協力者会議」委員

内山淳子

- 横浜市青葉区「アート構想コンファレンス」委員

襟川文恵

- 滋賀県県民生活部文化振興課「新生美術館整備推進専門家会議委員」

松永真太郎

- 東京都写真美術館作品資料収蔵委員会委員
- 東京国立近代美術館美術作品評価員(写真部門)

岡崎智美

- アーツコミッション・ヨコハマ(ACY) クリエイティブ・インクルージョン活動助成審査員

木村絵理子

- アーツコミッション・ヨコハマ(ACY) 創造都市横浜における若手芸術家育成助成クリエイティブ・チルドレン・フェロウシップ審査員
- アートアワードトーキョー丸の内2016審査員
- 東京藝術大学大学院映像研究科課程博士論文審査委員
- 東京藝術大学美術学部油画科修士制作展講評
- アジア・カルチュラル・カウンシル個人フェロウシップ美術部門審査員
- 日産アートアワード2017作家推薦委員

◎その他

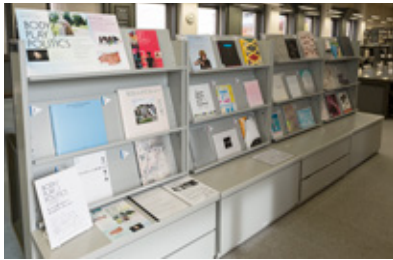
帆足亜紀

- 国際交流基金アジアセンター「The Japan Foundation Asia Center Art Studies vol.3」出版にかかわる企画会議のコーディネーター業務

美術情報センターの活動



資料特別展示



企画展関連資料コーナー



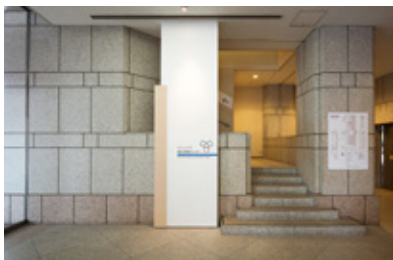
展示室から美術情報センターへの通路



展示室から美術情報センターへの通路入口



美術情報センター入口



美術情報センター正面入口

美術情報センターは、美術に関する図書資料、映像資料等を収集、整理、保存し、市民や研究者の利用に供することを目的としています。また、所蔵資料を活用し、コレクション展との連携を行っています。なお、寺田倉庫よりプランニングから施工までの作業および費用一式の寄附を受け、コレクション展展示室から美術情報センターへ続く廊下部分と正面入口サインボードの改修工事を行いました。

開室時間：10:00～18:00(入室および各種利用受付17:30まで)

* 年末年始及び特別整理期間は休室

収集・整理・保存・利用状況

収集実績

	購入	寄贈	合計
和書	1冊	489冊	490冊
洋書	9冊	154冊	163冊
和カタログ	0冊	1,033冊	1,033冊
洋カタログ	0冊	518冊	518冊
収集総数			2,204冊
蔵書総数			111,577冊
逐次刊行物	3,139タイトル		

利用状況

開室日数	295日
利用者数	30,608人
レファレンス	972件
閉架資料利用	2,755冊
コピー利用	638件
ビデオ利用	81件

特別整理期間

期間：6月6日(月)～16日(木)

概要：和カタログ21,225件照合

スライド(約6000シート以上)整理および美術情報センター内レイアウト変更

映像資料公開

イメージフォーラム・フェスティバル2016

映像表現の最先端を紹介する国内最大級の映像アートの祭典、イメージフォーラム・フェスティバル2016にて当館所蔵の映像資料を含む国内外のフィルムアートを上映。

日時：7月16日(土)～18日(月祝)

*7月17日(日)「横浜特別講座」

ナビゲーター：奥山順市(実験映画作家)

会場：レクチャーホール

参加人数：82人,112人,42人

所蔵資料貸出

美術情報センター外への所蔵資料貸出

* 美術品の収集、保存・修復、貸出 貸出 参照 (P.49-51)

資料展示等

資料特別展示

ガラス展示ケース

- カサット展連動企画
「パリ万博と紹介された日本」
7月12日(火)～9月28日(水) 7件10点
- BODY展、篠山紀信展連動企画
『ピクチャー・ポスト』に見る「フォト・エッセイ」
10月1日(土)～3月22日(水) 7件13点

資料展示架

- 複製技術と美術家たち展連動企画
「ピカソとウォーホル、版画×写真」
5月25日(水)～6月24日(金) 20点
- カサット展連動企画
「35年前のメアリー・カサット展カタログ、他」
8月6日(土)～9月28日(水) 19点
- BODY展連動企画
「もっと知りたい!6人のアーティスト」
10月1日(土)～12月28日(水) 30点
- 篠山紀信展連動企画
「篠山紀信の原点を探る『アサヒカメラ』を中心に」
1月4日(水)～4月14日(金) 33点

施設情報掲出および講師派遣

第18回図書館総合展

日時：11月8日(火)～10日(木) 10:00～18:00

会場：パシフィコ横浜有隣堂ブース

11月10日(木)

ビブリオバトルパトラー：八柳サエ

活動紹介および見学会受入れ

全国美術館会議 情報・資料研究部会 第46回部会

日時：2月15日(水) 14:00～17:00

会場：8階スクールスペースおよび美術情報センター

発表1「資源の蓄積と公開について—教育普及の視点から」 端山聡子

発表2「美術情報センターのこれまでと現在、これから」 八柳サエ

参加人数：10人

教育普及事業

概要

横浜美術館の教育普及活動は、開館以来実績を積み上げてきた造形プログラムに、鑑賞プログラムを組み合わせ、特色ある事業を展開しています。また、学校教育や環境啓発など、地域や社会と連携した新しい取組みも積極的に行っています。

子どものアトリエは、小学校6年生(12歳)までの子どもを対象とした創造の場です。「自分の目で見て、自分の手で触れ、自分でやってみる」ことを造形美術の基本と考え、遊びを通したさまざまな造形体験を提供しています。「プレイルーム」「クラフトルーム」「光と音のスタジオ」において、平日には幼稚園・保育園、小学校、特別支援学校などの教育機関と連携し造形や鑑賞の活動を行う「学校のためのプログラム」を、休日には個人を対象とした「親子のフリーゾーン」や造形講座を行っています。春と秋には「教師のためのワークショップ」を開催し、指導者への研修事業に取り組んでいます。

市民のアトリエは、12歳以上が対象で、市民と作家あるいは市民と市民が、美術の「つくる」プロセスを通して出会う場です。展覧会や美術作品への理解を深めるため、年間を通じて企画展やコレクション展と関連する内容ははじめ多彩な実技講座を開催しています。平面室は、絵画制作を中心に、さまざまな表現による作品制作を行うスペースです。立体室には、彫塑をはじめ、各種の立体制作を行う設備が揃っています。版画室では、銅版画・リトグラフ・シルクスクリーン・木版の各版種を本格的に制作することができます。

教育プロジェクトは鑑賞を中心にしたプログラム展開をしています。エドゥケーターのもつさまざまな専門性をベースにしたコレクション展ギャラリートークの実施、ボランティアによる企画展事前ガイダンス、中高生の年代を対象にした個人向けや学校向けプログラムなどを提供し鑑賞をサポートしています。また、学校教育や地域福祉関係の支援団体との連携、ボランティア活動を中心とした市民協働など、美術館を地域に開き市民生活に繋げていく取組みを行っています。

平成28年度の総括

子どものアトリエは、学校連携プログラムや個人造形講座、研修事業、病院へのアウトリーチなどの活動のほか、神奈川芸術劇場との共同事業として、同劇場の子ども向けの公演で舞台美術を手掛けた、当館収蔵作家の金氏徹平氏によるワークショップを開催するなど、子どもたちの可能性を開くさまざまな出会いの場を創出しました。

市民のアトリエは、実技講座、中学校や高齢者福祉施設へのアウトリーチ、横浜市環境創造局共催事業の「横浜みどりアップ・ワークショップ」などを継続し、「BODY展」では、横浜赤レンガ倉庫1号館のダンス事業と連携したワークショップ、「和田淳展」では、東京藝術大学大学院映像研究科連携によるワークショップを実施しました。

教育プロジェクトは、特別支援学校中等部・高等部を対象とした鑑賞プログラム、若者の自立支援団体との共催で実施したワークショップや市民協働事業に継続的に取り組むほか、市立中学校の美術科教員と協働し、コレクション作品による鑑賞授業の指導演を作成、ウェブサイトを通し教員間で共有する取組みをスタートさせました。

教育普及グループは、こうした活動を通し、子ども・障がい者・高齢者など幅広い人々や、地域や市民生活に開かれた美術館を目指す教育普及を充実させ展開しました。

企画展

◎複製技術と美術家たち展

トークセッション「富士ゼロックス版画コレクション その魅力と使命」

日時：4月23日(土) 15:00～16:30

出演：横田 茂(横田茂ギャラリー代表),

小林弘長(富士ゼロックス株式会社総務部), 中村尚明

会場：レクチャーホール

参加人数：86人

アーティスト・トーク「ゼログラフィー・科学・美術・芸術」

日時：5月3日(火祝) 15:00～16:30

出演：戸村 浩(出品作家)

会場：円形フォーラム

参加人数：70人

親子講座「手づくりスタンプでランチョンマットをつくろう!」

*鑑賞サポート 子ども鑑賞サポート 個人向け鑑賞講座 参照(P.35)

マックス・エルンストに学ぶ コラージュ作品集の作り方

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(P.40)

展覧会・ココがみどころ!

*来館者へのおもてなし ビジターサービス 参照(P.57)

ギャラリートーク

日時：(各土曜) 5月14日・21日・28日
15:00～15:30

担当：坂本恭子, 片多祐子, 中村尚明

会場：展示室

参加人数：17人, 35人, 30人

夜の美術館でアートクルーズ

日時：5月21日(土) 19:00～21:00

担当：中村尚明, 坂本恭子

会場：展示室

参加費：3,000円

参加人数：30人

子どもギャラリー・ツアー

日時：6月2日(木)

11:00～11:30, 14:00～14:30

担当：坂本恭子, 片多祐子

会場：展示室

対象：小学生高学年以上

参加人数：8人, 16人

若者支援プログラム

K2インターナショナル利用者対象

日時：5月31日(火) 13:30～16:30

担当：関 淳一, 端山聡子, 河上祐子, 太田雅子

会場：展示室, 8階スクールスペース

参加人数：19人

スマートフォンによる無料音声ガイド「SkyDesk Media Trek」

提供：富士ゼロックス株式会社

テキスト：中村尚明, 坂本恭子, 片多祐子

件数：延べ2,703件ダウンロード

◎カサット展

開催記念トークイベント

日時：3月9日(水) 14:00～15:30

ゲスト：江國香織(小説家)

聞き手：沼田英子

会場：レクチャーホール

参加人数：159人

記念講演会「国際的な印象派の画家、メアリー・カサットの生涯と作品」

日時：6月25日(土) 14:00～15:30

講師：パメラ・イヴィンスキー(美術史家)

会場：レクチャーホール

参加人数：126人

シンポジウム「印象派の広がり」

日時：7月31日(日) 13:30～17:00

基調講演講師：ナンシー・モウル・マシューズ(ウィリアムズ・カレッジ美術館ユージェニー・ブレンダーガスト名誉主席学芸員および名誉講師)

パネリスト：

三浦 篤(東京大学大学院総合文化研究科教授)

杉山昌夫(神奈川県立近代美術館主任学芸員)

池田祐子(京都国立近代美術館主任研究員)

コーディネーター：沼田英子

会場：レクチャーホール

参加人数：203人

ギャラリートーク

日時：(各金曜)

7月8日, 8月5日 15:00～15:30

9月2日 18:00～18:30

担当：沼田英子, 内山淳子, 金井真悠子

会場：展示室

参加人数：70人, 90人, 110人

夜の美術館でアートクルーズ

日時：7月13日(水), 8月27日(土)

19:00～21:00

担当：沼田英子

会場：展示室

参加費：3,500円

参加人数：53人, 49人



複製技術と美術家たち展 アーティスト・トーク



複製技術と美術家たち展 アートクルーズ



カサット展 銅版画デモンストレーション



カサット展 がんこちゃん×館長さん トークショー



BODY展 ライブパフォーマンス



篠山紀信展 ギャラリートーク

油絵にトライ! 身近な人を描く

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(P.40)

デモンストレーション カラーエッチング(多色刷り銅版画)の刷り

日時:(各日曜)7月24日,8月7日・21日
10:30~12:00,13:30~15:00

実演:櫻庭瑠実
会場:グランドギャラリー
参加人数:204人,235人,369人

ざわざわ森のがんこちゃんがやってきた! 親子で楽しむ「メアリー・カサット展」

日時:8月18日(木)
13:00~14:30,15:30~17:00

会場:レクチャーホール,展示室
第1部「がんこちゃん×館長さん トークショー」

出演:ざわざわ森のがんこちゃん
(NHK Eテレキャラクター)
逢坂恵理子,金井真悠子

司会: NHK横浜放送局アナウンサー

第2部「親子で一緒に絵画鑑賞」
ギャラリートーク担当:

沼田英子,内山淳子,金井真悠子,
関 淳一,山崎 優,岡崎智美,大岩久美
対象:年中~小学1年生の子どもおよびその保護者

参加人数:199人

子ども向け鑑賞シート「メアリー・カサット展 ジュニアガイド」

市内小学校342校の5・6年生と中学校147校の1年生に配布、および会場配布
発行部数:150,000部
ウェブダウンロード公開:6月13日(月)

◎BODY展

アーティスト・トーク

日時:10月1日(土) 13:45~16:30
出演:ウダム・チャン・グエン(出品作家)
アピチャップボン・ウィーラセタクン(出品作家)
会場:円形フォーラム
参加人数:107人

アジア・アートウィーク フォーラム

「波紋—日本、マレーシア、インドネシア美術の20世紀」

*第50回アジア開発銀行年次総会横浜開催連携事業

日時:10月2日(日)
第1部 13:00~16:00
第2部 17:30~20:30

出演:
第1部
基調講演:「1868-1945/幕末から第2次世界大戦にかけての日本人の身体観

と美術」

講師:河田明久(千葉工業大学教授)
セッション1:「1950年代以降のマレーシア、インドネシアにおけるフェミニズム運動—アーティストの視点から」
パネリスト:
イー・イラン(出品作家)
小勝禮子(近代美術史/美術批評)
モデレーター:木村絵理子

第2部

セッション2:「小野佐世男と1940年代のインドネシア美術」
パネリスト:
アンタリクサ(歴史家/クンチカルチュラル・スタディーズセンター共同設立者)
小野耕世(日本マンガ学会会長)
モデレーター:山野真悟(黄金町バザール ディレクター)

ディスカッション

パネリスト:全パネリスト
主催:横浜市,横浜美術館
会場:第1部 円形フォーラム
第2部 高架下スタジオ Site-D 集会場
参加人数:82人,73人

夜の美術館でアートクルーズ

日時:10月26日(水),11月26日(土)
19:00~21:00

担当:木村絵理子
ゲスト:1回目 石川竜一(出品作家)
2回目 田村友一郎(出品作家)
会場:グランドギャラリー,展示室
参加費:3,000円
参加人数:46人,43人

ライブパフォーマンス

野生派:curryなる3つめの事故(wifiじゃないから聞こえないっす)

日時:10月28日(金) 19:00~20:30
出演:野生派[石川竜一+吉濱翔+ミヤギフトシ+渡辺郷+ルーベン・キーハン+木村絵理子]
共催:横浜音祭り2016
会場:グランドギャラリー
参加人数:60人

横浜美術館×横浜赤レンガ倉庫1号館 共同企画 演出家・多田淳之介 ワークショップ

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(P.40)

◎篠山紀信展

アーティスト・トーク

日時:1月4日(水) 15:25~15:45
7日(土) 15:00~16:30
出演:篠山紀信(出品作家)
会場:展示室,レクチャーホール
参加人数:337人,240人
*1月7日(土)のアーティスト・トーク終了後、サイン会を開催

ギャラリートーク

日時:(各土曜)1月28日,2月11日・25日
15:00~15:30
担当:大澤紗蓉子,長谷川珠緒,中村尚明
会場:展示室
参加人数:90人,48人,65人

夜の美術館でアートクルーズ

日時:2月4日(土) 19:00~21:00
担当:中村尚明,大澤紗蓉子,長谷川珠緒
会場:展示室
参加費:3,000円
参加人数:45人

コレクション展

◎第1期

ギャラリートーク

日時:(各金曜)5月13日・27日,7月8日・22日,
8月12日・26日 14:00~14:30
担当:八柳サエ,端山聡子,河上祐子,岡崎智美,
太田雅子,山崎 優
会場:展示室
参加人数:17人,17人,32人,33人,27人,45人

アーティスト・トーク

日時:6月5日(日) 14:30~15:30
7月16日(土) 14:00~15:00
講師:遠藤彰子(洋画家/武蔵野美術大学教授)
内田めぐり(画家/武蔵野美術大学教授)
聞き手:八柳サエ,庄司尚子
会場:展示室,ホワイエ
参加人数:85人,93人

中高生プログラム

一美術を体験しよう!伝えよう!一

日時:6月12日(日) 10:00~12:00
26日(日) 10:00~12:00
7月10日(日) 10:00~14:00
24日(日) 10:00~14:30
8月7日(日) 10:00~14:00
11日(木祝) 10:00~12:00
21日(日) 10:00~14:30
9月4日(日) 10:00~12:00
10月30日(日) 10:30~11:30
11月6日(日) 10:15~11:30

担当:端山聡子,河上祐子
講師:6月26日(日) 宮武カルメン(つくば言語
技術教育研究所)
7月10日(日) 市原幹也(演出家)
24日(日) 大嶋貴明(宮城県美術館
教育普及部)
会場:展示室,8階スクールスペース
対象:中学生と高校生 16人
参加人数:14人,14人,11人,14人,13人,13人,
14人,13人,8人,8人

●演劇で美術鑑賞『彫刻との対話から生まれた物語』

日時:3月29日(水)
10:15~10:55(公開リハーサル),
14:00~14:40,15:30~16:10
会場:グランドギャラリー,ホワイエ
演出:市原幹也
出演:飴屋法水
山内健司
吉見茉莉奈
参加人数:112人



中高生プログラム記録誌

中高生・夏休み美術相談デー

日時:8月20日(土)
10:00~12:00,13:00~15:00
担当:関 淳一,太田雅子,河上祐子
会場:展示室,ホワイエ
対象:中学生,高校生
参加人数:22人

美術をたのしむ!こども探検隊

日時:8月21日(日) 10:30~14:00
担当:端山聡子,河上祐子,太田雅子
会場:展示室,8階スクールスペース
対象:小学4・5・6年生
参加人数:14人

横浜市教育委員会「心の教育ふれあいコンサート」連携プログラム

ヨコビ探検隊

日時:9月7日(水) 13:00~14:00
9日(金) 10:30~11:30,
13:00~14:00
担当:関 淳一,端山聡子,太田雅子,河上祐子
会場:展示室,円形フォーラム,市民のアトリエ
参加人数:藤が丘小学校 106人
生麦小学校 78人
美しが丘東小学校 77人

◎第2期

横浜市教育委員会「心の教育ふれあいコンサート」連携プログラム

事前レクチャー会と団体鑑賞

日時:10月4日(火)・21日(金)
10:30~11:30,13:00~14:00
5日(水) 10:30~11:30
19日(水) 13:00~14:00
担当:関 淳一,端山聡子,太田雅子,河上祐子
会場:展示室,円形フォーラム,
レクチャーホール,子どものアトリエ
参加人数:南舞岡小学校 43人
すみれが丘小学校 77人
山下小学校 61人
下郷小学校 79人
北綱島小学校 111人
都岡小学校 58人

*8月31日(水),9月6日(火)に教員への事前
レクチャーを実施
参加人数:7人,3人

ギャラリートーク

日時:(各金曜)10月14日・28日,11月11日・
25日,12月9日 14:00~14:30
担当:内山淳子,坂本恭子,関 淳一,端山聡子,
柳川文秀
会場:展示室
参加人数:15人,19人,19人,14人,21人



コレクション展 ギャラリートーク



中高生プログラム



中高生・夏休み美術相談デー



美術をたのしむ!こども探検隊

撮影:加藤 建



心の教育ふれあいコンサート連携プログラム ヨコビ探検隊



特別支援学校の創作・鑑賞ワークショップ

アーティスト・トーク

日時:10月16日(日) 14:00~15:00
 講師:熊井恭子(テキスタイルアーティスト)
 聞き手:内山淳子
 会場:展示室,ホワイエ
 参加人数:55人

金属(ステンレススチール)を縫う

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連
 ワークショップ 参照(P.40)

「描かれた横浜」関連レクチャー

日時:(各土曜)10月22日・29日,11月5日
 14:00~15:00
 講師:『ペルリ提督横浜上陸の図』を読みとく
 西川武臣(横浜開港資料館・横浜市
 発展記念館 副館長)
 『関東大震災と横浜風景』
 青木祐介(横浜市発展記念館 主任調
 査研究員)
 『みなとみらい21とランドマークタワー
 建設に携わって』
 恵良隆二(公益財団法人横浜市芸術文
 化振興財団 常務理事/元三菱地所株
 式会社)
 会場:ホワイエ
 参加人数:36人,36人,36人

ボランティアによる「美術で街歩きー描かれた横浜をたずねて」

日時:11月22日(火)・27日(日) 13:30~15:00
 *各日2コースを同時に実施
 コース:1回目 みなとみらいコース
 横浜海岸通りコース
 2回目 横浜懐古 ゆめロードコース
 港の風景コース
 参加人数:16人,15人

特別支援学校の創作・鑑賞ワークショップ

港南台ひの特別支援学校
 日時:12月5日(月) 10:10~12:00
 担当:端山聡子,太田雅子
 会場:展示室,円形フォーラム
 参加人数:27人

日野中央高等特別支援学校

日時:12月10日(土) 10:00~12:00
 担当:端山聡子,太田雅子
 会場:展示室,8階スクールスペース
 参加人数:13人

◎第3期

ギャラリートーク

日時:(各金曜)1月13日・27日,2月10日・24日
 14:00~14:30
 担当:松永真太郎,河上祐子,端山聡子,
 櫻庭瑠実
 会場:展示室

参加人数:23人,19人,18人,30人

アーティスト・トーク

日時:2月24日(金) 18:30~20:00
 講師:石川真生(写真家)
 聞き手:木村絵理子
 会場:レクチャーホール
 参加人数:92人

若者支援プログラム

K2インターナショナル利用者対象
 日時:2月1日(水) 13:30~15:30
 担当:関 淳一,端山聡子,河上祐子
 会場:展示室,8Fスクールスペース
 参加人数:17人

New Artist Picks

◎和田淳展

アーティスト・トーク

日時:2月4日(土) 16:30~17:30
 講師:和田 淳(出品作家)
 聞き手:松永真太郎
 会場:アートギャラリー2
 参加人数:60人

**横浜美術館×東京藝術大学 共同企画
 アニメーション・ワークショップ「カラダの
 リズム」**

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連
 ワークショップ 参照(P.40)

上映会「カラダ!リズム!フィルム!」

日時:2月25日(土)
 [Aプログラム] 13:00~14:30
 [Bプログラム] 15:00~16:30
 [Cプログラム] 17:00~18:30

解説:和田 淳(出品作家)
 山村浩二(アニメーション作家/東京
 藝術大学大学院映像研究科教授)

上映作品:[Aプログラム]
 ワタシのリズム:和田淳作品個展
 上映(9作品)
 [Bプログラム]
 カラダとリズム:東京藝大アニメー
 ション専攻歴代作品セレクション
 (10作品)
 [Cプログラム]
 フィルムのリズム:横浜美術館所
 蔵映像作品セレクション(10作品
 +ワークショップ成果作品上映)

会場:レクチャーホール
 参加人数:225人

子ども鑑賞サポート

◎個人向け鑑賞講座

わくわく1日鑑賞講座

●親子講座「手づくりスタンプでランチョン
 マットをつくろう!」
 (「複製技術と美術家たち展」関連プログラム)
 日時:5月5日(木祝)
 10:00~12:00,14:00~16:00
 担当:山崎 優,岡崎智美,大岩久美
 会場:グランドギャラリー
 対象:小学生とその保護者
 参加人数:41組107人

●親子講座「知ってるものが知らないもの
 に!?家のものが彫刻に?!」
 (KAATキッズプログラム2016『わかつたさ
 んのクッキー』関連プログラム)
 *外部と連携した事業 外部との連携 参照
 (P.55)

わくわく日曜鑑賞講座

「美術ってなんじゃもんじゃ?」
 日時:[3回]10月9日・16日・23日
 14:00~16:00
 講師:山崎 優,岡崎智美,大岩久美
 会場:子どものアトリエ,コレクション展展示室,
 コレクション展展示室
 参加費:3,500円
 対象:小学校4・5・6年生
 参加人数:9人

◎学校のためのプログラム

鑑賞プログラム[小学校1校]

日時:12月5日(月) 10:00~14:00
 担当:山崎 優,岡崎智美,大岩久美
 会場:子どものアトリエ,コレクション展展示室
 参加人数:西寺尾小学校73人

◎子どものための展覧会

会場:子どものアトリエ内ギャラリー
 ●子どものアトリエコレクション
 進藤貞雄の針金造形—本の針金から—
 期間:4月-10月
 出展作家:進藤貞雄
 ●SENSUOUS PARADE—ふれるかたち、か
 んじるかたち—
 期間:11月-3月
 出展作家:伊東純子

子どものアトリエ

学校のためのプログラム

造形プログラム(90校) [幼稚園・保育園45園/小学校25校/特別支援・各種学校20校]

時間: 10:00~14:00

会場: 子どものアトリエ

担当: 山崎 優, 岡崎智美, 大岩久美, 高德早矢香

年間参加者数: 5,738人

4月19日(火)	いのやま幼稚園・保育園	82人	10月18日(火)	駒林小学校	86人
4月20日(水)	宝島幼稚園	36人	10月19日(水)	トキワ保育園	30人
4月22日(金)	屏風ヶ浦はるかぜ保育園 港南はるかぜ保育園合同	59人	10月21日(金)	港北区個別支援学級合同	96人
4月26日(火)	すみれが丘小学校	69人	10月25日(火)	聖坂養護学校	39人
4月27日(水)	ヒルズ学園	20人	10月26日(水)	中区個別支援学級合同	79人
5月10日(火)	宮の台幼稚園	31人	10月28日(金)	星川ルーナ保育園	79人
5月11日(水)	港南区個別支援学級合同	99人	11月1日(火)	ラフ・クルー元町保育園	25人
5月13日(金)	神大寺小学校	132人	11月2日(水)	都岡小学校	57人
5月17日(火)	神橋小学校	93人	11月7日(月)	横浜隼人幼稚園	60人
5月20日(金)	上菅田特別支援学校	37人	11月8日(火)	鶴見小学校	107人
5月24日(火)	本牧めぐみ幼稚園	57人	11月9日(水)	磯子区個別支援学級合同	79人
5月25日(水)	仏向小学校	82人	11月11日(金)	横浜みこころ幼稚園	63人
5月27日(金)	幸ヶ谷幼稚園	84人	11月15日(火)	上寺尾小学校	101人
5月30日(月)	杉の子幼稚園	124人	11月16日(水)	大岡小学校	87人
5月31日(火)	長津田第二小学校	95人	11月18日(金)	白根小学校	105人
6月3日(金)	オハナ新羽保育園	23人	11月22日(火)	洋光台中央福澤保育センター	25人
6月7日(火)	小山台小学校	48人	11月25日(金)	南区個別支援学級合同	88人
6月8日(水)	栄区個別支援学級合同	100人	11月28日(月)	旭はるかぜ保育園・上大岡はるかぜ保育園合同	48人
6月10日(金)	六ツ川西保育園・笹山保育園合同	47人	11月29日(火)	大正小学校	102人
6月14日(火)	浦島小学校	84人	11月30日(水)	日吉こども園	38人
6月15日(水)	横浜みなとみらい保育園	47人	12月2日(金)	神奈川区個別支援学級合同	96人
6月17日(金)	相沢小学校	51人	12月6日(火)	ひまわり幼稚園	52人
6月21日(火)	白楽あいこ保育園	23人	12月9日(金)	パレット保育園 綱島・たまプラーザ・長津田・ 牛久保西・高田・センター南・大豆戸合同	67人
6月22日(水)	上菅田小学校	138人	12月13日(火)	横浜ナーサリー	34人
6月24日(金)	金沢区個別支援学級合同	81人	12月14日(水)	県立横浜南養護学校(小学部)	17人
6月28日(火)	大豆戸小学校	96人	1月13日(金)	白峰保育園	22人
6月29日(水)	キティ石川町・横浜	30人	1月17日(火)	白幡幼稚園	88人
7月1日(金)	西寺尾小学校	92人	1月18日(水)	室の木幼稚園	99人
7月5日(火)	本牧南小学校	51人	1月20日(金)	青葉区個別支援学級合同	104人
7月6日(水)	都筑区個別支援学級合同	103人	1月24日(火)	めぐみ幼稚園	48人
7月8日(金)	戸部幼稚園	62人	1月25日(水)	旭区個別支援学級合同	96人
7月12日(火)	相武山小学校	81人	1月27日(金)	聖母幼稚園	59人
7月13日(水)	寺谷にこにこ保育園	32人	1月31日(火)	桜ヶ丘幼稚園	73人
9月9日(金)	南日野保育園	37人	2月1日(水)	汐見台愛育園	15人
9月13日(火)	鴨志田緑小学校	63人	2月3日(金)	早苗幼稚園	49人
9月14日(水)	トイボックス山下町園	20人	2月7日(火)	ベネッセ 市が尾駅前保育園	32人
9月16日(金)	東中田小学校	103人	2月8日(水)	泉区個別支援学級合同	44人
9月20日(火)	捜真幼稚園	61人	2月10日(金)	横浜中華学院	49人
9月21日(水)	緑区個別支援学級合同	100人	2月14日(火)	すくすく保育園	31人
9月27日(火)	高風保育園	49人	2月15日(水)	関東学院のびのびのば園	53人
9月28日(水)	磯子小学校	82人	2月17日(金)	YMCAとつか保育園	32人
9月30日(金)	東俣野特別支援学校	15人	2月21日(火)	中和南小学校	123人
10月11日(火)	鴨居北こども園	27人	2月22日(水)	霞台保育園	37人
10月12日(水)	蟹特別支援学校	58人	2月24日(金)	中村特別支援学校	20人
10月14日(金)	中尾小学校	54人	2月28日(火)	ベネッセ 日吉保育園	46人



学校のためのプログラム(特別支援学校)



親子のフリーゾーン



立体人間をつくろう



くちやくちやお絵かき



編み編みアート



親子講座「発泡スチロールアート」

親子のフリーゾーン

日時:原則日曜 10:00~11:30

会場:子どものアトリエ

対象:小学生以下のお子さんとその保護者

参加費:小学生以下無料, 保護者および中学生以上100円

年間参加者数:17,340人

*8月よりウェブサイトからの事前申込制を導入

4月10日(日)	480人	10月9日(日)	513人
4月17日(日)	496人	10月16日(日)	480人
4月24日(日)	501人	10月23日(日)	447人
5月8日(日)	600人	11月6日(日)	428人
5月15日(日)	602人	11月13日(日)	411人
5月22日(日)	600人	11月20日(日)	386人
6月5日(日)	502人	11月27日(日)	375人
6月12日(日)	602人	12月4日(日)	397人
6月19日(日)	604人	12月11日(日)	424人
7月3日(日)	604人	1月8日(日)	439人
7月10日(日)	607人	1月15日(日)	405人
7月17日(日)	600人	1月22日(日)	427人
8月7日(日)	365人	2月5日(日)	463人
8月14日(日)	411人	2月12日(日)	448人
8月21日(日)	399人	2月19日(日)	479人
9月4日(日)	457人	3月5日(日)	468人
9月11日(日)	463人	3月12日(日)	481人
9月18日(日)	449人	3月19日(日)	527人

募集リーフレット

横浜美術館 子どものアトリエプログラム『ピコラガイド』『親子のフリーゾーンガイド』の発行



個人の造形講座

会場：子どものアトリエ
 担当：山崎 優, 岡崎智美, 大岩久美, 高德早矢香
 年間参加者数：1,332人

【造形プログラム】

◎わくわく日曜造形講座

4月 立体人間をつくろう

日時：[3回] 4月10日・17日・24日
 14:00～16:00
 参加費：4,000円
 対象：小学校4・5・6年生
 参加人数：15人

5月 えのぐであそぼう

日時：[3回] 5月8日・15日・22日
 14:00～16:00
 参加費：3,500円
 対象：小学校1・2・3年生
 参加人数：25人

6月 ちぎり絵アート

日時：[3回] 6月5日・12日・19日
 14:00～16:00
 参加費：3,500円
 対象：幼稚園・保育園の年長児
 参加人数：24人

7月 花器をつくろう

日時：[3回] 7月3日・10日・17日
 14:00～16:00
 参加費：4,000円
 対象：小学校1・2・3年生
 参加人数：23人

9月 デコ車でゴー!

日時：[3回] 9月4日・11日・18日
 14:00～16:00
 参加費：3,500円
 対象：幼稚園・保育園の年長児
 参加人数：24人

11月 紙工作に挑戦

日時：[3回] 11月6日・13日・20日
 14:00～16:00
 参加費：4,000円
 対象：小学校1・2・3年生
 参加人数：23人

12月 クリスマスツリーをつくろう

日時：[3回] 11月27日, 12月4日・11日
 14:00～16:00
 参加費：4,000円
 対象：幼稚園・保育園の年長児
 参加人数：22人

1月 版画に挑戦

日時：[3回] 1月8日・15日・22日
 14:00～16:00
 参加費：4,000円
 対象：小学校1・2・3年生
 参加人数：23人

2月 紙粘土でレリーフアート

日時：[3回] 2月5日・12日・19日
 14:00～16:00
 参加費：4,000円
 対象：幼稚園・保育園の年長児
 参加人数：22人

3月 見て描こう

日時：[3回] 3月5日・12日・19日
 14:00～16:00
 参加費：4,000円
 対象：小学校1・2・3年生
 参加人数：25人

◎夏休み造形講座

透けるえのぐでかこう

日時：[3回] 8月1日(月)・2日(火)・3日(水)
 10:00～12:00
 参加費：4,000円
 対象：幼稚園・保育園の年長児
 参加人数：23人

編み編みアート

日時：[3回] 8月15日(月)・16日(火)・17日(水)
 10:00～12:00
 参加費：4,000円
 対象：小学校1・2・3年生
 参加人数：25人

ジグソーアート

日時：[3回] 8月22日(月)・23日(火)・24日(水)
 10:00～12:00
 参加費：4,000円
 対象：小学校4・5・6年生
 参加人数：23人
 *8月22日(月)は台風のため中止
 8月23日(火) 10:00～12:00, 13:00～15:00
 に日程変更

◎わくわく1日造形講座

ぐちゃぐちゃお絵かき

日時：4月29日(金祝) 10:00～12:00
 参加費：1,500円
 対象：幼稚園・保育園の年長児
 参加人数：32人

親子講座「土粘土であそぼう」

日時：7月18日(月祝) 10:00～12:00
 参加費：親子2人で2,000円
 *1人追加で+500円
 対象：幼稚園・保育園の年長児と保護者
 参加人数：26組57人

親子講座「発泡スチロールアート」

日時：9月22日(木祝) 10:00～12:00
 参加費：親子2人で2,000円
 *1人追加で+500円
 対象：小学校1～6年生と保護者
 参加人数：24組59人

小さな銅版でモノタイプ版画

日時：1月9日(月祝) 10:00～12:00
 参加費：2,000円
 対象：小学校1～6年生
 参加人数：21人

親子講座「立体絵本に挑戦」

日時：2月11日(土祝) 10:00～12:00
 参加費：親子2人で2,000円
 *1人追加で+500円
 対象：幼稚園・保育園の年長児と保護者
 参加人数：20組44人

◎長期日曜造形講座

油絵クラブ

日時：[6回] 5月8日・15日・22日,
 6月5日・12日・19日
 14:00～16:00
 講師：石井 健(画家/造形講師)
 参加費：10,000円
 対象：小学校4・5・6年生
 参加人数：19人

日本画クラブ

日時：[6回] 11月6日・13日・20日・27日,
 12月4日・11日
 14:00～16:00
 参加費：10,000円
 対象：小学校4・5・6年生
 参加人数：19人

市民のアトリエ



小さなブロンズ作品づくり



版画基礎コース



木彫「花びらのイメージで」



初めての絵画教室 テッサンから水彩へ



初めての絵画教室 テッサンから水彩へ



クライスター・パピア

ワークショップ

◎アートとふれあう

小さなブロンズ作品づくり

日時:[2回] 各14:00~16:30

Aコース (各土曜) 5月7日・14日

Bコース (各日曜) 6月12日・19日

Cコース (各土曜) 7月30日, 8月6日

Dコース (各日曜) 9月4日・11日

Eコース (各水曜) 10月5日・12日

Fコース (各月曜) 10月24日・31日

Gコース (各日曜) 11月6日・13日

Hコース (各土曜) 11月26日, 12月10日

Iコース (各土曜) 3月11日・25日

講師: 小林且典(彫刻家), 木下貴博

参加費: 各4,500円

参加人数: A8人, B8人, C8人, D8人, E8人,
F8人, G8人, H8人, I8人

版画基礎コース

担当: 櫻庭瑠実

日時:(各土曜) [6回] *Cコースのみ4回
各10:10~12:40

Aコース 5月7日-6月11日

Bコース 6月18日-7月23日

Cコース 8月27日-9月17日

Dコース 9月24日-10月29日

Eコース 11月5日-12月17日

*12月3日は休み

Fコース 1月7日-2月11日

Gコース 2月18日-3月25日

インストラクター:

森田奏美(リトグラフ), 安井春菜(銅版画)

長田奈緒, 数見亮平(シルクスクリーン)

参加費: A, B, D, E, F, G=16,000円

C=10,000円

参加人数: A17人, B17人, C17人, D17人,

E17人, F17人, G17人

木彫「花びらのイメージで」

担当: 木下貴博

日時:(各月曜) 各14:00~16:00

前期[6回] 5月30日-7月4日

後期[8回] 11月7日・14日・21日・28日,

12月5日・12日, 1月16日・23日

講師: 川本 拓(彫刻家)

参加費: 前期18,000円, 後期21,000円

参加人数: 前期10人, 後期7人

初めての絵画教室 テッサンから水彩へ

担当: 柳川文秀

日時:(各金曜) [2回] 各10:30~16:30

Aコース 6月10日・17日

Bコース 9月30日, 10月7日

講師: 野澤奈穂子(画家)

参加費: 各14,000円

参加人数: A15人, B15人

初めての絵画教室

担当: 柳川文秀

日時:(各土曜) [5回]

11月12日・19日・26日, 12月10日・17日

各14:00~16:30

参加費: 14,000円

参加人数: 14人

紙を染める「クライスター・パピア」

担当: 櫻庭瑠実, 柳川文秀

日時:(各日曜) [2回] 各13:00~16:00

Aコース 11月13日・20日

Bコース 1月15日・22日

講師: 森住 香(クライスター・パピア作家)

参加費: 各8,500円

参加人数: A11人, B13人

ステップアップ透明水彩

担当: 柳川文秀

日時:(各土曜) [2回] 2月25日, 3月25日

各10:30~16:00

講師: 野澤奈穂子(画家)

参加費: 14,000円

参加人数: 16人

市民のアトリエ

◎平成28年度

横浜みどりアップ・ワークショップ

横浜の森「初夏の香りを楽しむ」

日時：(各日曜) [2回] 5月8日, 6月5日

各13:30~15:30

担当：木下貴博, 柳川文秀, 櫻庭瑠実

講師：渡辺えり代 (香研究者 / 香研究会IRI代表)

会場：1回目=環境活動支援センター(保土ヶ谷区)

2回目=市民のアトリエ

参加費：無料

参加人数：15人, 14人

横浜の森「早春の香りを楽しむ」

日時：(各日曜) [2回] 2月12日・26日

各13:30~15:30

担当：木下貴博, 柳川文秀, 櫻庭瑠実

講師：渡辺えり代 (香研究者 / 香研究会IRI代表)

会場：1回目=環境活動支援センター(保土ヶ谷区)

2回目=8階レセプションルーム, 展示室

参加費：無料

参加人数：15人, 14人

◎展覧会関連ワークショップ

「複製技術と美術家たち展」関連企画

マックス・エルンストに学ぶ コラージュ作品集のつくり方

日時：(各日曜) [3回] 5月15日・22日・29日

1回目：13:00~16:30

2回目：A班 10:30~13:00

B班 14:30~17:00

3回目：13:00~15:00

担当：櫻庭瑠実, 柳川文秀, 木下貴博, 関 淳一

講師：中村尚明

写真撮影・写真製版指導：

永村奈緒 (写真家・版画家)

協力：富士ゼロックス株式会社

会場：市民のアトリエ, 企画展示室

富士ゼロックスお客様価値創造センター

参加費：3,000円

参加人数：16人

「カサット展」関連企画

油絵にトライ! 身近な人を描く

日時：(各土曜)[4回] 7月2日・16日・23日・30日

各14:00~16:30

担当：柳川文秀, 金井真悠子

講師：一色映理子 (画家)

参加費：14,000円

参加人数：15人

「BODY展」関連企画

横浜美術館×横浜赤レンガ倉庫1号館 共同企画

演出家・多田淳之介 ワークショップ

日時：12月4日(日) 13:30~17:00

担当：柳川文秀, 櫻庭瑠実, 木村絵理子,

松永真太郎, 片多祐子, 日比野民蓉,

中富勝裕 (横浜赤レンガ倉庫1号館プロデューサー)

講師：多田淳之介 (演出家 / 東京テスロック主宰 / 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ芸術監督 / 「横浜ダンスコレクション2017」参加アーティスト)

アシスタント：

佐山和泉 (俳優 / 東京テスロック所属)

ゲスト：田村友一郎 (出品作家)

会場：8階スクールスペース, 企画展示室 他

対象：舞台表現者(振付家, ダンサー, 役者, 演出家等) または目指している方, 18歳以上

参加費：3,000円

参加人数：12人 [見学者：62人]

「コレクション展第2期」関連企画

金属(ステンレススチール)を縫う

日時：(各日曜) [2回]

10月16日 14:00~15:00

23日 14:00~16:30

担当：木下貴博, 内山淳子

講師：熊井恭子 (テキスタイルアーティスト)

会場：1回目=展示室 (アーティスト・トーク, 鑑賞)

2回目=8階レセプションルーム(制作)

参加費：2,300円

参加人数：16人, 16人

「New Artist Picks 和田淳展」タイアップイベント

横浜美術館×東京藝術大学 共同企画

アニメーション・ワークショップ「カラダのリズム」

日時：2月5日(日) 10:30~17:00

担当：櫻庭瑠実, 松永真太郎, 関 淳一

講師：山村浩二 (アニメーション作家 / 東京藝術大学大学院映像研究科教授)

アシスタント：ニコラス・グアリン, 清家美佳 (東京藝術大学大学院映像研究科博士課程)

参加費：3,000円

参加人数：16人

*制作した作品は、2月25日(土)に同展の上映会「カラダ!リズム! フィルム!」で、プログラムの一部として上映



初夏の香りを楽しむ



コラージュ作品集のつくり方



油絵にトライ! 身近な人を描く



演出家・多田淳之介 ワークショップ



金属を縫う



オープンスタジオ立体室 テラコッタ

オープンスタジオ

◎オープンスタジオ立体室

担当: 木下貴博
会場: 市民のアトリエ立体室

テラコッタ

日時:[6回] 各13:30~16:00
各10:30~13:30(オプション)
Aコース (各水曜) 5月11日・18日・25日,
6月1日・8日, 7月6日
Bコース (各日曜) 6月26日, 7月3日・10日・
17日・24日, 8月21日
Cコース (各月曜) 8月8日・15日・22日・29日,
9月5日, 10月3日
*8月22日は台風のため中止
Dコース (各火曜) 9月27日, 10月4日・11日・
18日・25日, 11月22日
Eコース (各水曜) 11月16日・30日, 12月7日・
14日・21日, 1月18日
Fコース (各水曜) 1月25日, 2月1日・8日・
15日・22日, 3月22日
参加費: 各9,000円 *オプション1回500円
参加人数: A13人, B12人, C12人, D12人,
E14, F13人
オプション参加人数: 265人

木の作品

日時: 各13:30~16:00
各10:30~13:30(オプション)
Aコース (各火曜) [10回] 5月10日-7月12日
Bコース (各水曜) [10回] 7月20日-9月21日
Cコース (各土曜) [10回] 9月10日-11月12日
Dコース (各火曜) [6回] 12月6日-1月24日
*12月27日, 1月3日は休み
Eコース (各土曜) [6回] 1月14日-2月25日
*2月11日は休み
Fコース (各火曜) [6回] 2月14日-3月21日
参加費: A-C各15,000円, D-F各9,000円
*オプション1回500円
参加人数: A14人, B12人, C13人, D12人,
E13人, F12人
オプション参加人数: 284人

◎オープンスタジオ平面室

担当: 柳川文秀
会場: 市民のアトリエ平面室

人体クロッキー(ヌード)

日時:(各水曜)
A,C,Eコース 10:30~13:00
B,D,Fコース 14:30~17:00
Aコース [8回] 5月11日-6月29日
Bコース [8回] 5月11日-6月29日
Cコース [9回] 9月21日-11月16日
Dコース [9回] 9月21日-11月16日
Eコース [8回] 1月18日-3月15日
*2月8日は休み
Fコース [8回] 1月18日-3月15日
*2月8日は休み
参加費: A,B,E,Fコース 各11,200円
C,Dコース 各12,600円
参加人数: A20人, B20人, C20人, D19人,
E20人, F19人

人体を描く

日時:[4回] 各14:00~16:30
Aコース(着衣) (各火曜) 6月21日-7月12日
Bコース(ヌード) (各水曜) 7月20日-8月10日
Cコース(着衣) (各土曜) 9月17日-10月8日
Dコース(ヌード) (各火曜) 10月25日-11月15日
Eコース(着衣) (各水曜) 11月30日-12月21日
Fコース(ヌード) (各金曜) 1月13日-2月3日
Gコース(着衣) (各火曜) 2月21日-3月14日
参加費: 各6,000円
参加人数: A18人, B18人, C18人, D18人,
E18人, F18人, G18人

◎オープンスタジオ版画室

担当: 櫻庭瑠実
会場: 市民のアトリエ版画室

日時:
第1期 5月7日-7月27日(火・水・土)
*5月17日・24日・31日は休み
(水) 10:10~16:30
(火・土) 14:00~16:30
第2期 8月27日-10月29日(水・土)
(水) 10:10~16:30
(土) 14:00~16:30
第3期 11月1日-12月21日(水・土)
*12月3日は休み
11月1日・15日・29日, 12月13日(火)
(水) 10:10~16:30
(火・土) 14:00~16:30
第4期 1月7日-3月25日(水・土)
1月10日・24日, 2月7日・21日,
3月7日・21日(火)
(水) 10:10~16:30
(火・土) 14:00~16:30
(暗室使用はすべて14:00~16:30)
インストラクター:
森田奏美(リトグラフ)
安井春菜(銅版画)
長田奈緒(シルクスクリーン)
数見亮平(シルクスクリーン)
参加費:(水) 利用 2,200円
(火・土) 利用 1,600円
暗室 1,600円
参加人数: 第1期575人, 第2期345人
第3期304人, 第4期509人

募集リーフレット

横浜美術館 市民のアトリエプログラム『ワークショップガイド』の発行



市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業

市民協働

横浜市、学校、福祉関係機関、市民団体、ボランティア団体、NPO法人、企業などと協働し、美術館教育普及事業の活動を社会に広がります。特に、既存の市民団体、ボランティア団体の活動などとリンクさせることで、美術館の活動への支援を広げるよう努めています。また、横浜美術館コレクション・フレンズというユニークな個人参加型の芸術支援プログラムを通じ、参加者に横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。

ボランティア

子どものアトリエ

「親子のフリーゾーン」ボランティア

活動期間：4月10日(日)-3月19日(日)

登録人数：36人

参加人数：延べ366人

ビジターサービスボランティア

活動期間：4月1日(金)-3月31日(金)

登録人数：14人

参加人数：延べ332人

- ・接客研修 1回
- ・障がい者・外国人対応研修 1回

美術情報センター1日ボランティア

活動期間：1月30日(月)

登録人数：9人

参加人数：9人

教育プロジェクトボランティア

活動期間：4月1日(金)-3月31日(金)

登録人数：65人

参加人数：延べ2,239人

主な活動内容：

- ・研修会・勉強会 28回
- ・展覧会・ココがみどころ! 24回
- ・ヨコハマ・アートマップ 26回
- ・描かれた物語 11回
- ・美術で街歩き 4回
- 一描かれた横浜をたずねて
- ・英語で横浜美術館紹介 1回
- ・ヨコトリサポーターとの合同活動 10回
- ・ふれあいコンサート連携プログラムサポート 3回
- ・中高生プログラムサポート 11回
- ・若者支援プログラムサポート 2回
- ・特別支援学校プログラムサポート 2回

フラットなコミュニケーション

NPO法人はぐつと連携した託児サービス

*来館者へのおもてなし ビジターサービス
参照(P.57)

原三溪生誕150年に向けた原三溪市民研究会との共同研究

定例会原則月1回、第2土曜日

奈良スタディ・ツアー

「三溪ゆかりの地を訪ねる」

日時：5月14日(土)・15日(日)

参加人数：20人

原三溪市民研究会第3回シンポジウム

「原三溪と本牧のまちづくり—過去と現在の対話—」

日時：11月12日(土) 13:30~16:30

第1部：基調講演「善三郎の着眼と富太郎の本牧」

講師：内海 孝（東京外国語大学名誉教授）

第2部：フォーラム「これからの本牧のまちづくり—課題と展望を考える」

パネリスト：
石田良男（本牧4南元気なまち運営委員会副会長）

伊波新之助（元朝日新聞編集委員）

大谷卓雄（原三溪市民研究会）

小島 淳（原三溪市民研究会）

佐々木雄大（横浜国立大学准教授）

コーディネーター：

猿渡紀代子（原三溪市民研究会顧問）

共催：原三溪市民研究会／横浜美術館／三溪園

助成：公益信託ヨコハマ中区まちづくり本牧基金

会場：円形フォーラム

参加人数：98人



ボランティア活動風景(展覧会・ココがみどころ!)



ボランティア活動風景(美術で街歩き)



ボランティア活動風景(ヨコトリサポーターとの合同活動)



ボランティア活動風景(ふれあいコンサートサポート)



フレンズ ガラリートーク展示室



フレンズ ガラリートーク懇談風景



チラシ

横浜美術館コレクション・フレンズ

12,000点を超える横浜美術館コレクションの継続的な修復や維持を目的として、平成22年にスタートした個人参加型の芸術支援プログラムです。参加者には、横浜美術館コレクションを通して、より深く美術と親しむための特別プログラムを提供しています。「横浜の宝」ともいえるコレクションをより良い状態で未来へ引き継いでいくための、ユニークな取り組みは、これからますますの発展が期待されています。

参加費：一口10,000円 参加人数：175名(196口)

平成28年度の対象作品7点

- ・ガブリエーレ・ムンター(1877-1962)
《抽象的コンポジション》
- ・荘司 福(1910-2002)
《春律》
- ・福田美蘭(1963年生まれ)
《風神雷神図》
- ・パブロ・ピカソ(1881-1973)
《帽子をかぶった婦人》[第7・最終ステート]
- ・熊井恭子(1943年生まれ)
《叢生(そうせい)'99》
- ・マン・レイ(1890-1976)
《解剖台の上のミシンと蝙蝠傘(こうもりかさ)の偶然の出会いのように美しい》
- ・イサム・ノグチ(1904-1988)
《真夜中の太陽》

交流会(年2回開催)

日時:10月16日(日) 16:30~18:30
2月18日(土) 15:30~18:00

講師: 柏木智雄, 八柳サエ
会場: 円形フォーラム,
 ブラッスリー・ティーズ・ミュゼ
参加人数: 96人, 101人

ギャラリートーク(年4回、8日開催)

日時: ①5月11日(水)・14日(土)
 ②7月6日(水)・9日(土)
 ③11月5日(土)・9日(水)
 ④1月25日(水)・28日(土)
 各11:00~12:00

講師: 八柳サエ, 大澤紗蓉子, 坂本恭子,
 内山淳子, 中村尚明
会場: 円形フォーラム, コレクション展示室
参加人数: 33人・21人, 37人・19人, 23人・23人,
 25人・23人

横浜美術館『コレクションフレンズ2016』

募集リーフレットの発行



地域社会や市民生活に貢献する事業

美術館における教育普及事業を、地域社会や市民生活に貢献する事業に発展させていきます。学校教育連携事業、アウトリーチ、人材育成事業、環境啓発事業等を行っています。

学校教育連携事業

「複製技術と美術家たち展」：女子美術大学

絵画科版画専攻学生向けレクチャー

日時：5月13日(金) 14:00～14:45

担当：中村尚明

会場：アートギャラリー2

参加人数：30人

「カサット展」橘学園高等学校オールデザイン

美術コース専攻学生向けレクチャー

日時：7月12日(火) 10:45～11:30

担当：関 淳一、金井真悠子

会場：橘学園高等学校

参加人数：93人

横浜国立大学連携

老人ホーム訪問ワークショップ

横浜国立大学教育人間科学部「中等美術科教育法A」授業（小池研二准教授）との連携
日時：1回目 5月18日(水) 16:00～17:00

20日(金) 14:00～15:30

2回目 1月17日(火) 16:00～17:00

31日(火) 14:00～15:30

講師：2回目 渡辺えり代(香研究家／香研究会 IRI代表)

担当：木下貴博

会場：市民のアトリエ、戸部ハマノ愛生園

参加人数：5人・12人、11人・20人

*5月20日(金)、1月31日(火)は戸部ハマノ愛生園にてワークショップを実施

横浜市芸術文化教育プラットフォーム

●教師対象

中学校・高校・特別支援学校の教諭を対象とした研修会

日時：7月25日(月) 10:15～16:30

講師：新妻健悦(アトリエ・コパン美術教育研究所代表)

担当：端山聡子、太田雅子

会場：コレクション展展示室、円形フォーラム

参加人数：17人

小学校図画工作科研修

日時：7月26日(火)・27日(水)

10:15～16:30

講師：市原幹也(演出家)

担当：端山聡子、太田雅子

会場：コレクション展展示室、円形フォーラム

参加人数：79人

●学校プログラム

シネカリグラフィワークショップ

講師：川本直人(映画作家)

生徒対象(計1校)

横浜市立本郷中学校

9月26日(月) 9:55～12:45

27日(火) 9:55～12:45 158人

木(角材)による立体構成

講師：望月 勤(木工作家)

生徒対象(計2校)

横浜市立希望が丘中学校

11月10日(木) 14:30～15:20

25日(金) 9:00～11:50

29日(火) 9:00～11:50 224人

横浜市立芹が谷中学校

12月19日(月) 9:10～13:35 118人

担当：関 淳一、木下貴博、柳川文秀、櫻庭瑠実

教師(中学校)のための研究会

●横浜美術館コレクションを活用した授業

のための中学校・美術館合同研究会

日時：(各土曜) 5月28日、6月25日、

11月26日、1月21日 14:15～16:15

*5月28日は14:30～16:30

担当：端山聡子、太田雅子

会場：コレクション展展示室

8階スクールスペース

参加人数：12人、9人、17人、15人

*9月3日(土)、10月22日(土)・29日(土)、

11月12日(土)にグループワークを実施

参加人数：8人、3人、2人、4人

●「横浜美術館コレクションを活用した授業のための中学校・美術館合同研究会」の公開授業

日時：2月14日(火) 14:10～15:00

会場：横浜市立泉が丘中学校

題名：「わたしの富士～人それぞれが感じている『富士』を味わおう～」

使用作品：片岡球子《富士》

日時：3月3日(金) 13:30～14:20

会場：横浜市立本郷中学校

題名：「屏風の世界に入ってみれば・・・」

使用作品：下村観山《小倉山》

横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会

日時：(各土曜) 5月28日、7月2日、11月26日、
1月21日 13:00～14:00

*5月28日は13:00～14:15

担当：端山聡子、太田雅子

会場：アートギャラリー2

参加人数：9人、8人、7人、10人

美術情報センター

鶴見大学研修生受入れ(台北・世新大学生)

日時：7月1日(金) 9:30～13:00

担当：八柳サエ

会場：8階スクールスペース、美術情報センター

参加人数：22人

台湾・世新大学 8人

中国・北京大学 5人

中国・中山大学 8人

引率教員 1人

城西国際大学と連携した展覧会紹介映像制作

・コレクション展第1期

・BODY展

・和田淳展

コレクション展第2期 横浜市立本町小学校

鑑賞会(国語の授業での受入れ)

日時：11月7日(月) 13:15～14:15

担当：端山聡子、河上祐子、関 淳一

会場：コレクション展展示室、円形フォーラム

参加人数：105人

「New Artist Picks 和田淳展」タイアップイベント

横浜美術館×東京藝術大学 共同企画

アニメーション・ワークショップ「カラダのリズム」

*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(P.40)

環境啓発事業

平成28年度横浜みどりアップ・ワークショップ

市民のアトリエ ワークショップ 参照(P.40)



横浜市芸術文化教育プラットフォーム 教師対象



横浜市芸術文化教育プラットフォーム 学校プログラム



横浜美術館コレクションと学校をつなぐ鑑賞会



アウトリーチ



エコ教室



教師のためのワークショップ

アウトリーチ事業等

アウトリーチ

日時：6月13日(月)・27日(月), 10月6日(木),
3月8日(水)

担当：山崎 優, 岡崎智美, 大岩久美

会場：やよいヶ丘幼稚園, 飯山幼稚園, 神奈川県立こども医療センター, 横浜医療福祉センター-港南

参加人数：60人, 85人, 34人, 40人

*外部と連携した事業 Heart to Art(P.56) による開催

Heart to Art 《よこしん》親子でエコ教室共催

日時：8月5日(金)

13:00~13:50, 14:00~15:40

講師(パフォーマンスショー)：らんま先生

担当(ポスター制作)：山崎 優, 岡崎智美,
大岩久美

会場：レクチャーホール, 子どものアトリエ

参加人数：181人(第1部のみ102人, ポスター制作まで参加79人)

横浜国立大学連携

老人ホーム訪問ワークショップ

*地域社会や市民生活に貢献する事業 学校教育連携事業 参照(P.44)

若者支援プログラム

K2インターナショナル利用者対象

日時：12月21日(水) 13:30~15:30

担当：関 淳一, 端山聡子, 河上祐子

会場：南部ユースプラザ

参加人数：12人

人材育成事業

◎博物館実習

活動期間：7月18日(月祝)-23日(土)

各日10:00~17:00

*21日(木)は除く

担当：木村絵理子, 片多祐子, 金井真悠子

会場：美術館内

参加費：5,000円

受講人数：12人

参加大学：青山学院大学, 学習院大学

女子美術大学, 多摩美術大学

東洋大学, 武蔵野美術大学

明治学院大学, 明治大学

立教大学

◎インターンシップ

子どものアトリエ

●インターン

活動期間：6月11日(土)-3月31日(金)

登録人数：10人

参加人数：延べ237人

●城西国際大学インターン

活動期間：7月30日(土)-8月24日(水)

登録人数：22人

参加人数：延べ110人

教育プロジェクト

活動期間：2月26日(日)-3月31日(金)

登録人数：3人

参加人数：延べ9人

海外インターンシップの受入

活動期間：4月1日(金)-4月30日(土)

6月1日(水)-3月31日(金)

登録人数：2人

参加人数：延べ58人

◎子どものアトリエ

教師のためのワークショップ

日時：夏期講座7月23日(土)・24日(日)

春期講座3月25日(土)・26日(日)

10:00~16:00

担当：山崎 優, 岡崎智美, 大岩久美

会場：子どものアトリエ

参加費：(夏期) 1日5,000円, 両日8,000円

(春期) 各日1日5,000円

参加人数：87人・102人, 76人・38人

◎子どものアトリエ

保育士・教師を対象とした研修等

受入件数：6件

参加人数：296人

受入団体：公益社団法人神奈川県私立幼稚園

連合会

磯子区保育士会

神奈川県立希望ヶ丘高等学校

神奈川県教育委員会

横浜市小学校図画工作教育研究会

横浜市特別支援学校教育研究会

◎その他研修等

受入件数：6件

参加人数：416人

受入団体：横浜市小学校図画工作教育研究会

横浜市立中学校教育研究会美術

科部会(4件)

磯子区図画工作研究会

美術品の収集、保存・修復、貸出

収集

美術資料収集方針

横浜美術館では、次のような方針に基づき作品を収集しています。(平成29年3月現在11,874件所蔵)

- 1 西洋文化の流入窓口であった横浜開港当時からヨーロッパ近代美術と日本近代美術の相互影響の足跡がたどれる作品
- 2 (1) 現代美術の展開と流れの鳥瞰に役立つ作品
(2) 今日の美術が内包する問題点を明確に表している作品
(3) 近代美術の一分野としての写真の代表作品
(4) 現代の市民生活に密着した分野(デザイン、工芸、建築、ビデオ)の代表作品
- 3 横浜ゆかりの代表的作家の作品
(1) 岡倉天心との関係を含めて、原三溪に庇護された、日本近代美術の発展に寄与した作家の作品
(2) その他、横浜ゆかりの代表的作家の作品
- 4 以上の美術に関連する資料

収集実績

分野別作品収集件数 平成28年度末累計:()内は28年度収集作品

	日本画	油彩画 (日本洋画・西洋画)	版画	水彩・素描	彫刻・立体	工芸	写真・映像	作品外資料*	合計
購入	163 (1)	199 (1)	1,607 (0)	62 (0)	46 (0)	82 (0)	3,188 (5)	0 (0)	5,347 (7)
寄贈	733 (81)	309 (4)	1,611 (0)	1,621 (75)	56 (0)	90 (0)	812 (57)	1,295 (129)	6,527 (346)
合計	896 (82)	508 (5)	3,218 (0)	1,683 (75)	102 (0)	172 (0)	4,000 (62)	1,295 (129)	11,874 (353)

*「作品外資料」とは、美術作品そのものではなく、例えば、書簡のように画家・作家の足跡、交友関係がたどれる資料や、作品の制作に使用した道具のように、制作の背景を明らかにする資料です。(「横浜市美術資料収集方針」の4、「第1項から第3項に関連する資料」に該当します。)

主な収集作品

作家	作品名
牛田雞村	《海苔干し》
中島清之	《郁代》
小牧源太郎	《婚姻図(高砂や)》
木村 浩	《言葉》(4点)
石田尚志	《光の落ちる場所》
土田ヒロミ	「ヒロシマ・モニュメント」(20点)

*今年度の収集作品については、「横浜美術館収蔵品目録」(平成29年度発行予定)を参照

保存・修復

分野	作家名	作品名	収蔵品番号	修復内容
西洋画	オットー・ディックス	《仔牛の頭部のある静物》	2004-OF-001	剥落箇所補彩、画面洗浄、額の調整
日本洋画	岩田榮吉	《横浜山手》	2010-OJ-006	額装
	國領經郎	《横浜風景》	2015-OJ-001	額の修復
	田辺謙輔	《暮の港》	88-OJ-062	額装
版画	石渡江逸	《横浜野毛(月夜)》	85-PRJ-014	マットの修正
	月岡芳年	《奥州安達がはらひとつ家の図》	85-PRJ-135	マットのヒンジ修正・補強
	エドゥアール・マネ	《ボードレール像》	92-PRF-080	フォクシング処置
	ジュゼッペ・テ・ニッティス	《題名不詳》	2003-PRF-081	ドライクリーニング、破れの補修、マット装
	パブロ・ピカソ	《帽子をかぶった婦人》	89-PRF-002-10	マットのヒンジ修正・補強
	ピーター・D・ミラー	《竹取物語》	2015-PRF-002	マット装
		《五稜星》	2015-PRF-006	マット装
《消えた星》		2015-PRF-007	マット装	
写真・映像	渋谷龍吉	《池田永一郎》	84-PHJ-29C	マット裏面のテープ・糊の除去、中性紙によるマットへの交換
		《レートクレームの広告》	84-PHJ-29F	マット裏面のテープ・糊の除去、中性紙によるマットへの交換
浜口タカシ	《佐藤首相と沖縄県民代表》	91-PHJ-005	マット装	
	「鉄条網の内と外」より			
	《嘉手納基地を背に働く農婦》	91-PHJ-006	マット装	
	「鉄条網の内と外」より			
	《沖縄ゴザ市のバーにて》	91-PHJ-007	マット装	
	「鉄条網の内と外」より			
	《沖縄復帰、円とドルの交換》	91-PHJ-009	マット装	
	「鉄条網の内と外」より			
	《成田三里塚》「成田闘争」より	91-PHJ-011	マット装	
	《支援学生らと機動隊が激しく衝突》	91-PHJ-022	マット装	
	「成田闘争」より			
	《反対して座り込む老人》「成田闘争」より	91-PHJ-023	マット装	
	《原爆ドーム》「人類初の惨禍」より	91-PHJ-028	マット装	
	《核告発の証人、福田須磨子さん》	91-PHJ-029	マット装	
「人類初の惨禍」より				
《昭和27年に発掘した遺骨の山》	91-PHJ-030	マット装		
「人類初の惨禍」より				
《横井庄一さん出迎え、羽田空港》	91-PHJ-048	マット装		
「遅れた終戦」より				
《小野田寛郎さんルバング島から帰還》	91-PHJ-050	マット装		
「遅れた終戦」より				
緑川洋一	《原爆ドーム》	92-PHJ-004	マット装	
	《呉海軍工廠》	92-PHJ-005	マット装	
	《社長と専務、船場》	92-PHJ-025	マット装	
	《業の配達、船場》	92-PHJ-027	マット装	
師岡宏次	《行商 下駄の齒入れ屋(東京)》	85-PHJ-138	マット装	
	《銀座の人達(東京銀座シリーズ)》	85-PHJ-145	マット装	
	《雪の柳橋 人力車(東京隅田川シリーズ)》	85-PHJ-157	マット装	
	《午後の銀座裏(東京銀座シリーズ)》	85-PHJ-162	マット装	
	《銀座ダンスホール(東京銀座シリーズ)》	85-PHJ-163	マット装	
	《終戦後の天皇、皇后両陛下》	85-PHJ-176	マット装	

貸出

貸出件数・点数

貸出先総件数：28件(うち海外1件)

貸出総作品数：117点(うち3点は美術情報センター所蔵資料)

貸出実績

展覧会等名称・会場・会期	作家名	作品名*・収蔵作品番号**
「生誕140年 吉田博展」 千葉市美術館 平成28年4月9日(土)-5月22日(日)	吉田 博	《冬木立》※福岡展
郡山市立美術館 平成28年6月4日(土)-7月24日(日)		《ウダイプールの城》※千葉展・福島展
久留米市美術館 平成29年2月4日(土)-3月20日(月祝)		《ウダイプールの島御殿》※千葉展・福島展
※平成29年度に上田市立美術館、東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館に巡回予定		《タジマハルの朝霧(第五)》※福岡展
		《タジマハルの夜(第六)》※福岡展
		《題名不詳[老木]》※千葉展・福島展
		《題名不詳[森林]》※千葉展・福島展
「アーティストin湘南1 萬鉄五郎×岸田劉生 その仲間たち」 平塚市美術館 平成28年4月16日(土)-6月12日(日)	岸田劉生 河野通勢	《椿君之肖像》
		《自画像》
		《崖》
	木村荘八	《土と草(冬)》
特別展「恩地孝四郎展 抒情とモダン 版に重なるこころ」 和歌山県立近代美術館 平成28年4月29日(金祝)-6月12日(日)	恩地孝四郎	《自画像》
※平成27年度に東京国立近代美術館で開催後、巡回		《ダイビング》
		《ウラシマソウ・芽》
		《ババイヤ、『博物志』より》
		《オホクリアリマキの集群、『博物志』より》
		《失題[花]》
		《中国にて、九江》
		《中国にて》
		《Lyrique No.22 かけらになつてる幸福》
「ピアズリーと日本」 新潟県立万代島美術館 平成28年4月29日(金祝)-6月26日(日)	長谷川潔	《トラピスト修道院礼拝堂》
石川県立美術館 平成28年7月23日(土)-8月28日(日)	長谷川潔関連資料	《洋人の庭》
※平成27年度に宇都宮美術館、滋賀県立近代美術館で開催後、巡回		『仮面』第2巻第8号よりピアズリー「サロメ」挿絵の複製画
		『仮面』第4巻第5号より永瀬義郎《サロメ》
山の日制定記念「遥かなる山一発見された風景美」 山口県立美術館 平成28年5月26日(木)-7月3日(日)	大下藤次郎	《飯坂附近》
松本市美術館 平成28年7月16日(土)-9月4日(日)	丸山晚霞	《題名不詳[神秘境]》
		《題名不詳[夏の山岳風景]》
「Picasso: The Artist and His Muses」 バンクーバー・アート・ギャラリー 平成28年6月11日(土)-10月2日(日)	パブロ・ピカソ	《ひじかけ椅子で眠る女》
「ダリ展」 京都市美術館 平成28年7月1日(金)-9月4日(日)	サルバドール・ダリ	《ガラスの測地学的肖像》
国立新美術館 平成28年9月14日(水)-12月12日(月)		《ガラスの測地学的肖像》のための素描 ※東京展
		《ヘレナ・ルビンシュタインのための壁面装飾 幻想的風景一晩、英雄的正午、夕べ》※東京展
開館25周年記念 「不思議なアート トリック トリック ハッ!と トリック」 平塚市美術館 平成28年7月2日(土)-8月28日(日)	マウリッツ・コルネリス・エッシャー	《白鳥》
		《婚姻の絆》
		《物見の塔》
		《上りと下り》
		《滝》
特別展「異界をひらく〜百鬼夜行と現代アート〜」 秋田県立美術館 平成28年7月16日(土)-9月4日(日)	松井冬子	《この疾患を治癒させるために破壊する》(寄託作品)
あいちトリエンナーレ2016 映像プログラム「プレイタイム!!」(上映イベント) 愛知芸術文化センター 平成28年8月19日(金)-9月11日(日)	イェルバン・ジャニキアン & アンジェラ・リッチ・ルッキ	《南極から赤道まで》(美術情報センター所蔵)

貸出

展覧会等名称・会場・会期	作家名	作品名*・収蔵作品番号**
日本・ベルギー友好150周年「ベルギー近代美術の精華展」 島根県立美術館 平成28年9月3日(土)-10月19日(水)	ポール・テルヴォー	《階段》
徳島県立近代美術館 平成28年10月26日(水)-12月11日(日)	ルネ・マグリット	《青春の泉》
あいちトリエンナー2016特別連携事業/特別企画展 「人が大地と出会うとき」 愛知県陶磁美術館 平成28年9月10日(土)-10月23日(日)	イサム・ノグチ	《下方へ引く力》
「ルソー、フジタ、写真家アジェのパリー境界線への視線」 ポーラ美術館 平成28年9月10日(土)-平成29年3月3日(金)	ウジェーヌ・アジェ	《キュヴィエの泉》 《フィヤンティーヌ通りの角、パリ5区》 《モンマルトル、サン＝ヴァンサン通り、パリ18区》 《シャナツクのアンシャン・コレージュ、ピエーヴル通り12番地》 《コルサン通り、パリ4区》 《ルイ15世の王国狩猟頭エケヴィリー公の邸宅、テュレンヌ通り60番地、パリ3区》 《「ポール・サリュ」、フォセ・サン＝ジャック通り》 《店、サント＝フォワ通り26番地、パリ2区》 《「金のコンパス」の宿、モントルグイユ通り72番地、パリ2区》 《「牝鹿」、ジヨフロワ・サン＝ティレール通り》 《ルーアン》 《サン＝クルー公園》 《ルーアン、オー＝ド＝ロベック広場》 《「太鼓」、トゥルネル河岸通り63番地、パリ5区》 《「おさなごキリスト」、プールドネ通りとサン＝トノレ通りの角、パリ1区》 《パレ・ロワイヤルの庭園、パリ1区》 《ヴェルサイユ、王妃の別荘》 《コンピエーニュ、骨董屋、ロンパール通り》 《蚤の市、アリグル広場、パリ12区》 《城塞、パリ13区》 《共同井戸、ギユミット通り6番地》 《中庭、プロカ通り41番地、パリ5区》 《ベルシーの倉庫、レオポール通り、パリ12区》 《ベルトン通り18番地の角》 題名不詳 (82-PHF-04I) 《シャトー・ド・バガテル、パリ16区》 《ルーアンの中庭》 題名不詳 (82-PHF-05B)
	アンドレ・ケルテス	《諷刺的な踊り子、1926年、パリ》 《パリの椅子、1927年、パリ》 《ムードン、1928年》 《割れた板ガラス、1929年、パリ》 《歩道、1929年、パリ》 《四ツ辻、1930年、プロワ》
神戸開港150年イベント 「松方コレクション展 松方幸次郎 夢の軌跡」 神戸市立博物館 平成28年9月17日(土)-11月27日(日)	ヤン・ファン・ホイエン シャルル＝フランソワ・ドービニー ジャン＝ジャック・エンネル アルフレッド・ステヴァンス リュシアン・シモン	《オランダの運河》 《風景》 《ニンフ》 《室内の婦人》 《少女》

展覧会等名称・会場・会期	作家名	作品名*・収蔵作品番号**
「動き出す! 絵画 ベール北山の夢 モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち」 東京ステーションギャラリー 平成28年9月17日(土)-11月6日(日) 和歌山県立近代美術館 平成28年11月19日(土)-平成29年1月15日(日) 下関市立美術館 平成29年1月28日(土)-3月12日(日)	ポール・セザンヌ ポール・ゴーギャン 有島生馬	《縞模様の服を着たセザンヌ夫人》※東京展・和歌山展 《ナヴェ・ナヴェ・フェヌア(かくわしぎ大地)》※山口展 《背筋の女》 『美術雑誌』創刊号(美術社刊)(美術情報センター所蔵)
「新・今日の作家展2016 創造の場所—もの派から現代へ」 横浜市民ギャラリー 平成28年9月22日(木祝)-10月9日(日)	斎藤義重	《内部》
「メアリー・カサット展」 京都国立近代美術館 平成28年9月27日(火)-12月4日(日) ※横浜美術館で開催後、巡回(P.13参照)	エドガー・ドガ カミーユ・ピサロ	《舞台裏の踊り子》 《ルーヴル美術館考古展示室にて、メアリー・カサット》 《積葉のある黄昏》 《水辺牧牛》 《エラニーの農婦》 《農婦》
佐野美術館創立50周年・三島市制75周年 記念 「横山大観 大気を描く」 佐野美術館 平成28年10月1日(土)-11月6日(日)	横山大観	《霊峰不二》 《雲揺ぐ》
特別展「小倉遊亀 ～明るく、温かく、楽しいもの～」 名都美術館 平成28年10月14日(金)-12月11日(日)	小倉遊亀	《良夜》
「蜘蛛の糸」 豊田市美術館 平成28年10月15日(土)-12月25日(日)	今村紫紅	《土蜘蛛草子》(模写)
「クラーナハ展—500年後の誘惑」 国立西洋美術館 平成28年10月15日(土)-平成29年1月15日(日)	バプロ・ピカソ	《ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)I》 《ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)II》 [第1ステート] 《ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)II》 [第2ステート] 《ヴィーナスとキューピッド(クラナツハによる)III》
「スタニスラフ・リベンスキー ヤロスラヴァ・プリフトヴァ展」 富山市ガラス美術館 平成28年10月15日(土)-平成29年2月5日(日)	スタニスラフ・リベンスキー/ ヤロスロヴァ・プリフトヴァ	《戴冠II》 《アーチ雲》 《炎の王座》
「美術工芸の半世紀 明治の万国博覧会展II さらなる挑戦」 久米美術館 平成28年10月29日(土)-12月4日(日)	渡辺幽香	《幼児図》
「トニー・コンラッド 彼の人生と作品の記録」(上映イベント) スーパーテラックス 平成28年11月20日(日)	トニー・コンラッド	《フリッカー》(美術情報センター所蔵)
「endless 山田正亮の絵画」 東京国立近代美術館 平成28年12月6日(火)-平成29年2月12日(日) 京都国立近代美術館 平成29年3月1日(水)-4月9日(日)	山田正亮	《Work C-89》 《Work C-92》
「シャセリオー展—19世紀フランス・ロマン主義の異才」 国立西洋美術館 平成29年2月28日(火)-5月28日(日)	オディロン・ルドン	《二人の踊女》
「愛しきものへ 塩谷定好 1899-1988」 島根県立美術館 平成29年3月6日(月)-5月8日(月)	塩谷定好	《雪日》 《三人の小坊主》 《破船》 《海蔵寺方丈の図》 《左義長の日》 《海》
総合開館20周年記念 「夜明けまえ 知られざる日本写真開拓史 総集編」 東京都写真美術館 平成29年3月7日(火)-5月7日(日)	ハーヴェイ・R・マークス	《栄力丸船員 仙太郎(SIMPACH)》(レプリカ) 《栄力丸船員 亀蔵(COMMETHO)》(レプリカ)

*会場を限定して貸出した作品については展示会場を補記
**同一作品名が複数ある作品については収蔵品番号を補記

広報の活動、外部と連携した事業

広報

個別の展覧会や事業ごとの宣伝だけでなく、横浜市の芸術拠点としての「横浜美術館」の発信、芸術文化の振興のために、広報を重視し、戦略的に取り組んでいます。

私たちが目指している方向とそのための取組み、さまざまな活動の内容とその成果も含め、横浜美術館を支えていただいている市民やメディアそして社会との信頼と支援の関係性をより強固に形成してゆきたいと考えます。そのために「横浜美術館」としての発信を行うパンフレットや刊行物等を発刊するとともに、さまざまな媒体を活用した迅速かつ計画的なP.R.に取り組んでいます。

また、横浜美術館を取り巻く社会の構造、また市民の生活行動や芸術文化に対するニーズなども今後大きく変化していきます。それらを分析、把握し、私たちの事業や管理運営活動に反映させ、展開していくことが必要です。マーケティング戦略の再構築をすべく、取り組んでいます。

露出件数

新聞	雑誌・フリーペーパー等	ウェブ	TV・ラジオ	その他	海外	合計
342	442	1,288	67	42	29	2,210



複製技術と美術家たち展 報道内覧会



カサット展 記者会見



BODY展 報道内覧会



篠山紀信展 記者会見



メディア懇談会



近隣アートプログラム かもめSCHOOL

展覧会広報

◎複製技術と美術家たち展

記者会見

日時：4月22日(金) 14:00~14:30
登壇者：逢坂恵理子, 中村尚明
会場：アートギャラリー2
参加人数：25人

報道内覧会

日時：4月22日(金) 13:00~14:45
会場：展示室
参加人数：38人

◎カサット展

記者会見

日時：6月24日(金) 14:00~14:30
登壇者：逢坂恵理子, 沼田英子
会場：レクチャーホール
参加人数：76人

報道内覧会

日時：6月24日(金) 13:00~14:45
会場：展示室
参加人数：127人

◎BODY展

記者会見

日時：9月30日(金) 17:30~18:00
登壇者：逢坂恵理子, 木村絵理子
会場：レクチャーホール
参加人数：56人

報道内覧会

日時：9月30日(金) 16:00~18:30
会場：展示室
参加人数：110人

*終了後、グランドギャラリーにて、寺田倉庫特別プレビュー&レセプション開催
*外部と連携した事業 特別鑑賞会 参照 (P.56)

◎篠山紀信展

記者会見

日時：1月7日(土) 13:30~14:15
登壇者：篠山紀信, 逢坂恵理子, 中村尚明
会場：円形フォーラム
参加人数：66人

全館広報

ウェブサイト

アクセス数: 4,710,615pv
(平成29年3月31日現在)

Twitter

フォロワー数: 133,030
(平成29年3月31日現在)

Facebook

ページいいね数: 5,228
(平成29年3月31日現在)

メールニュース

登録者数: 7,872人
(平成29年3月31日現在)
発行数: 定期便25回, 臨時便15回
トピック: 新規登録キャンペーンを2回実施

◎ウェブを活用した全館広報

「音で楽しむ」「映像で楽しむ」美術館, ウェブサイトリニューアル
3月30日(木) 更新

◎広報ツールの制作

てぬぐい1種

◎メディア懇談会など

ブロガー内覧会

日時: 7月2日(土) 18:30~20:30
概要: ブロガー内覧会(カサツ展)
会場: 展示室
参加人数: 79人

記者懇談会

日時: 2月7日(火) 15:00~17:00
概要: 記者懇談会
会場: 8階レセプションルーム
参加人数: 35人

◎首都圏に焦点をあてた広報展開

●「複製技術と美術家たち展」における近隣企業, アートフェア 東京2016での特別割引券配布

●「カサツ展」における都内交通広告, 桜木町駅横断幕掲出, 三菱一号館美術館との相互割引

●「BODY展」における近隣就業者, さいたまトリエンナーレ等アートフェスティバルでの特別割引券配布

●「篠山紀信展」における横浜市内, 都内での交通広告掲出, 彫刻の森美術館との相互割引, 原美術館との相互チラシ配架

◎海外メディアへの広報

企画展, コレクション展, NAP, 全展で日英での展覧会プレスリリース作成
海外メディアへの展覧会プレスリリース配信
海外VIP. への展覧会招待状送付

◎近隣アートプログラム

MARK IS みなとみらい店長会等

日時: 平成28年4月-平成29年3月 計12回
会場: レクチャーホール
参加人数: 計1,471人

MMcc(Minato Mirai community club)

●複製技術と美術家たち展
日時: 5月27日(金)
18:30~20:30
参加費: 1,200円
参加団体数: 5団体
参加人数: 48人

●カサツ展

日時: 7月20日(水)
18:30~20:30
参加費: 1,400円
参加団体数: 8団体
参加人数: 71人

●BODY展

*11月26日(土)の「夜の美術館でアートクルーズ」に特別参加
参加団体数: 5団体
参加人数: 7人

●篠山紀信展

日時: 2月24日(金)
19:00~20:30
参加費: 1,400円
参加団体数: 8団体
参加人数: 91人

みなとみらいかもめSCHOOL

横浜美術館のアトリエで版画体験!?[シルクスクリーン編]
日時: 5月27日(金), 6月3日(金)
19:00~21:00
講師: 櫻庭瑠実
会場: 市民のアトリエ
参加費: 3,500円
参加人数: 13人

マーケティング

展覧会アンケートに見る来場者プロフィール *回収率=回収数÷総入場者数

	複製技術と美術家たち展	カサツ展	BODY展	篠山紀信展
総数	1,148通(*回収率5.3%)	899通(*回収率0.7%)	766通(*回収率3.8%)	1,008通(*回収率1.5%)
来館回数				
11回以上	22%	17%	21%	17%
6~10回	17%	14%	19%	16%
2~5回	33%	36%	31%	34%
今回が初めて	25%	26%	22%	29%
不明	3%	7%	7%	4%
居住地				
市内	50%	39%	53%	43%
市外	47%	57%	43%	54%
不明	3%	4%	4%	3%
性別				
女性	60%	68%	57%	61%
男性	38%	28%	40%	36%
不明	2%	4%	3%	3%
年齢				
19歳以下	9%	14%	3%	4%
20代	13%	12%	17%	13%
30代	13%	11%	16%	13%
40代	18%	19%	19%	22%
50代	24%	18%	23%	27%
60代以上	20%	22%	19%	19%
年齢不明	3%	4%	3%	2%

展覧会報告会 第1回 6月14日(火) 第2回 9月20日(火) 第3回 1月10日(火) 第4回 3月13日(月)

外部と連携した事業

文化芸術創造都市「横浜」の中心的な施設として、横浜市の都市戦略である創造都市形成や、シティ・セールス、観光プロモーションと連携した事業を展開しています。また、横浜市芸術文化振興財団は、横浜みなとみらいホール、横浜能楽堂、横浜にぎわい座、横浜赤レンガ倉庫1号館などを管理運営しています。それぞれに専門分野がありますが、社会課題への対応や子どもへの取組みなどの共通の課題については、横断的な検討体制により連携して実施します。

都市戦略との連携

◎みなとみらい21地区に貢献できるイベント

《よこしん》プレゼンツ横浜美術館コンサート

日時・出演：7月30日(土)

1回目 11:00~11:20

アクアマリンカルテット(東京藝術大学
在学生による弦楽四重奏)

2回目 13:00~13:20

カンテムス少女合唱団(ハンガリー)

3回目 15:00~15:20

カンテムス少女合唱団(ハンガリー)

会場：グランドギャラリー

参加人数：1,370人

インポートSUV&クロスオーバーフェア2016

日時：11月5日(土) 11:00~17:00

6日(日) 10:00~16:00

会場：横浜美術館前広場(新型車両展示)

主催：インポートSUV&クロスオーバーフェア
2016実行委員会

参加人数：16,000人

オートカラーアワード2016

日時：12月9日(金) 10:00~18:00

10日(土) 10:00~16:00

会場：横浜美術館前広場(車両展示)

レクチャーホール(公開プレゼンテーション)

主催：一般社団法人日本流行色協会

参加人数：604人

◎横浜市と連携したレセプション会場の提供

BioJapan 2017 パートナリング パーティ

日時：10月13日(木) 16:00~21:00

会場：グランドギャラリー、BODY展展示室

参加人数：535人

CP*2017オープニングレセプションパーティー

日時：2月23日(木) 18:00~20:00

会場：グランドギャラリー、篠山紀信展展示室、
コレクション展展示室

参加人数：187人

◎横浜市が推進するイベント等との連携

日本テレビドラマ『世界一難しい恋』

完成試写会

日時：4月4日(月) 13:30~16:30

会場：レクチャーホール、グランドギャラリー

参加人数：120人

ポスター掲示

期間：4月13日(水)-5月31日(火)

場所：Café小倉山、グランドギャラリー

横浜音楽祭2016

●横浜美術館で音楽会

～印象派を代表する女性印象画家メアリー・
カサットの回顧展に寄せて～

日時：9月2日(金) 15:00~17:00

3日(土) 14:00~16:00

出演：林美智子(メゾソプラノ)

大萩康司(ギター)

「カサット展」見どころ解説(沼田英子)

会場：レクチャーホール

主催：横浜みなとみらいホール

参加費：3,000円

参加人数：196人、224人

●ライブパフォーマンス

野生派：curryなる3つめの事故(wifiじゃ
ないから聞こえないっす)

*鑑賞サポート 企画展 BODY展 参照(P.33)

TBSテレビドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」

ポスター掲示

期間：10月1日(土)-12月20日(火)

場所：Café小倉山

第50回アジア開発銀行年次総会横浜開催連携事業

*BODY展 参照(P.14-15)

クラシック・ヨコハマ2016

●音遊びワークショップ&アート作品鑑賞会

日時：11月27日(日)

11:00~12:00, 13:30~14:30

会場：8階レセプションルーム

主催：クラシック・ヨコハマ推進委員会、

毎日新聞社、横浜市

参加人数：71人

●新春ミュージアムコンサート

「新春のミュージアムで楽しむオーボエ四重
奏の清々しい調べ」

日時：1月8日(日)

13:00~13:30, 15:00~15:30

会場：グランドギャラリー

参加人数：258人

フォト・ヨコハマ2017

●パートナーイベント

篠山紀信展 写真力 THE PEOPLE by KISHIN

*篠山紀信展 参照(P.16-17)

コレクション展第3期

I 昭和の肖像 一写真でたどる「昭和」の人
と歴史

II “マシン・エイジ”の視覚革命 一両大戦間
の写真と映像

*コレクション展 第3期 参照(P.22-23)

New Artist Picks 和田淳展 | 私の沼

*和田淳展 参照(P.24-25)

●スタンプラリー

日時：2月23日(木)-26日(日)

TPAM—国際舞台芸術ミーティング横浜2017

平田オリザ+盗火劇団「台北ノート」

日時：2月15日(水) 20:00~22:00

16日(木) 13:00~15:00,

19:00~21:00

会場：グランドギャラリー

主催：国際舞台芸術ミーティングin横浜2017
実行委員会

参加費：3,000円

参加人数：228人、204人、203人

CP*2017

●横浜美術館「篠山紀信展」「コレクション展」 特別レクチャー

日時：2月24日(金) 16:00~16:40

出演：中村尚明、松永真太郎

会場：CP*2017会場内特設ステージ

参加人数：51人

●CP*2017特別鑑賞会・オープニングレセ プションパーティー

*外部と連携した事業 特別鑑賞会 参照(P.56)

*外部と連携した事業 都市戦略との連携 横浜
市と連携したレセプション会場の提供 参照
(P.54)



《よこしん》コンサート



インポートSUV&クロスオーバーフェア



音遊びワークショップ



新春ミュージアムコンサート



TPAM2017『台北ノート』 撮影：前澤秀登



KAAT連携 金氏徹平ワークショップ

専門館連携

横浜みなとみらいホール連携

- 日本フィルハーモニー管弦楽団「～大人のための音楽創造ワークショップ」
日時：4月29日(金祝) 11:00～16:00
会場：8階レセプションルーム
参加費：無料
参加人数：26人

●横浜美術館で音楽会

- ～印象派を代表する女性印象画家メアリー・カサットの回顧展に寄せて～
*外部と連携した事業 都市戦略との連携 横浜市が推進するイベント等との連携 参照(P.54)

横浜赤レンガ倉庫1号館連携

- アートリンクin横浜赤レンガ倉庫×横浜平沼高校美術部 関連企画
「メアリー・カサット展 レクチャー&美術館施設探検」
日時：8月22日(月) 10:00～11:30
会場：企画展示室, 市民のアトリエ平面室
参加人数：24人
- 「BODY展」関連企画
演出家・多田淳之介 ワークショップ
*市民のアトリエ ワークショップ 展覧会関連ワークショップ 参照(P.40)

外部との連携

KAAT 神奈川芸術劇場

- KAATキッズプログラム2016『わかったさんのクッキー』関連プログラム
親子講座「知っているものが知らないものに!? 家のものが彫刻に?!」
日時：5月7日(土) 13:00～15:00
会場：子どものアトリエ
講師：金氏徹平(現代美術家)
対象：小学生と保護者
参加人数：13組26人

イメージフォーラム・フェスティバル2016

- *美術情報センターの活動 映像資料公開 参照(P.29)

株式会社有隣堂

- 第18回図書館総合展
*美術情報センターの活動 施設情報掲出および講師派遣 参照(P.29)

神奈川県造形教育協議会

- 第56回関東甲信越静地区造形教育大会
日時：11月17日(木) 13:00～14:10
18日(金) 10:05～11:55
会場：関内ホール
参加人数：693人

海老名市立中央図書館

- 「横浜美術館学芸員に聞く アートの楽しみ方」
日時：12月11日(日) 14:00～15:30
会場：海老名市立中央図書館1階イベントスペース
登壇：片多祐子, 襟川文恵
参加費：無料
参加人数：50人

青山ブックスクール

- シリーズ「美術館とコレクション」第8回
横浜美術館「写真」全館展示記念
「昭和の写真学・民俗学」
日時：2月18日(土) 13:30～15:30
登壇：松永真太郎, 畑中章宏(民俗学者)
会場：青山ブックセンター本店・小教室
参加費：2,160円
参加人数：7人

特別鑑賞会

大和証券特別鑑賞会

日時:7月7日(木) 12:30~18:00

会場:カサット展展示室, レクチャーホール,
グランドギャラリー

参加人数:168人

読売新聞購読者内覧会

日時:7月14日(木) 10:00~18:00

会場:グランドギャラリー, カサット展展示室

参加人数:2,615人

NHKネットクラブ会員限定 特別鑑賞会

日時:8月4日(木) 10:30~16:00

会場:カサット展展示室

参加人数:1,137人

イブサ2017年度新卒採用予定者研修

日時:8月22日(月) 13:45~16:00

会場:円形フォーラム

参加人数:40人

寺田倉庫特別プレビュー&レセプション

日時:9月30日(金) 18:30~20:30

会場:グランドギャラリー, BODY展展示室

参加人数:480人

BioJapan 特別鑑賞会

*外部と連携した事業 都市戦略との連携 横浜市と連携したレセプション会場の提供 参照(P.54)

寺田倉庫特別鑑賞会

日時:11月19日(土) 14:00~16:00

会場:円形フォーラム, BODY展展示室

参加人数:17人

CP+2017特別鑑賞会

*外部と連携した事業 都市戦略との連携 横浜市と連携したレセプション会場の提供 参照(P.54)

寺田倉庫特別鑑賞会

日時:2月4日(土) 14:00~16:00

会場:円形フォーラム, 篠山紀信展展示室

参加人数:25人

Heart to Art(企業向け芸術支援プログラム)

Heart to Artは、企業からの支援により美術の普及活動や市民へのサービスを充実させるプログラムです。企業と美術館がそれぞれのノウハウを活かすことにより幅広い展開を目指しています。

参加企業: NTTソフトウェア株式会社/千代田化工建設株式会社/寺田倉庫/横浜信用金庫

来館者へのおもてなし



複製技術と美術家たち展 展覧会・ココがみどころ!



グランドギャラリー 正月装花



託児サービス



ショップ



ショップ 篠山紀信展 特設コーナー



カフェ 篠山紀信展 限定メニュー

ビジターサービス

さまざまな方に向けたサービスとして、引き続き託児サービスや企画展観覧料の障がい者割引を実施しました。また、展覧会へのご理解を気軽に深めていただけるよう、個人や団体向けの鑑賞レクチャーを開催しました。エントランスホールであるグランドギャラリーにおいて、季節感のある空間演出を行っています。

個人向け鑑賞前レクチャー 展覧会・ココがみどころ!

日時: 5月11日(水)・15日(水)・18日(水)・22日(日)・25日(水)・29日(日), 6月1日(水)・5日(日) 11:00~11:15, 13:00~13:15, 14:00~14:15

担当: 教育プロジェクトボランティア

会場: グランドギャラリー

参加人数: 58人, 87人, 58人, 72人, 60人, 75人, 74人, 140人

英語で横浜美術館紹介

日時: 3月26日(日) 10:30~10:40

担当: 教育プロジェクトボランティア

会場: グランドギャラリー

参加人数: 5人

団体向け鑑賞前レクチャー

日時: 各企画展・コレクション展会期中(12月まで) 全26団体

会場: 美術館内各所

参加人数: 823人

横浜アートde街コン in 横浜美術館

日時: 4月30日(土), 7月2日(土), 10月8日(土) 16:00~18:15

会場: 複製技術と美術家たち展, カサツ展, BODY展展示室

参加人数: 77人, 47人, 27人

グランドギャラリーの演出

生花装飾

12月27日(火)~1月7日(土) *門松

1月4日(水)~8日(日) *正月装花

ソーシャルインクルージョン

●託児サービス実施

日時: 8月19日(金)・20日(土)・21日(日),

2月3日(金)・4日(土)・5日(日)

13:30~16:00

会場: 円形フォーラム

対象: 満1歳~未就学児

人数: 6人, 3人, 5人, 3人, 2人, 2人

●障がい者向けガイドツールの制作

車椅子向けアクセスマップ

海外来館者の把握

*4月23日(土)より集計開始

ヨーロッパ 631人

アジア 934人

北米 699人

南米 43人

オセアニア 207人

アフリカ 13人

その他 65人

合計 2,592人

横浜美術館館内パンフレットの発行



『ようこそ横浜美術館へ』



美術情報センター

来館者へのおもてなし

ミュージアムショップとカフェ

◎ミュージアムショップ

横浜美術館のコレクションをデザインしたオリジナルグッズや企画関連グッズをはじめ、過去の展覧会図録や、美術に親しむための書籍類、ポストカードやステーションナリーなどの身近な商品から、お子様向けの絵本など、約1,000種の商品をお取り扱いしています。
営業時間：11:00～18:00

オリジナルグッズ

1月にコレクションによるオリジナルポストカード55種（新規41種、増刷14種）を製作販売。

オンラインショップ

300点以上の商品を掲載。特設カテゴリとして企画展ごとのほか、「母の日」(5月)、「夏のおすすめ」(8月)、「クリスマス」(12月)、「バレンタイン」(2月)などを開設。

横浜みなとみらいホール MUSE SHOP 連携 横浜フランス月間2016「音楽と楽しむ おうち ビストロ、サロン・ド・テ」

期間：6月14日(火)～7月14日(木)

内容：横浜美術館コレクションがラベルになった「開港150周年記念ワイン」を横浜みなとみらいホール MUSE SHOPで紹介

◎Café 小倉山

展覧会の余韻を感じながらくつろげるスペースで飲み物や軽食を提供しています。
営業時間：10:45～18:00 ラストオーダー17:30

展覧会限定メニュー

●複製技術と美術家たち展

複製技術のオープンサンド
フラワーソーダ

●カサット展

ミルクパフェ
キャラメル オ ショコラ フロート

●BODY展

和風チキンのバインミー

●篠山紀信展

カメラテニッシュプレート

●コレクション展第2期

観覧車パンケーキ

●和田淳展

マシュマロ抹茶ラテ

期間限定メニュー

春：春のマシュマロトースト

桜と苺のラテ
桜と苺のソーダ

秋：マロンショコララテ

冬：クリスマスプレート

ホワイトチョコレートミルク with マシュマロクリーム
ジンジャーフレンチトースト

横浜フランス月間2016:

ボルドーワインとおつまみのセット
ビアンブニュ ア パリ

西区キャンドルアート:

ひこにゃんバナナラテ
にしまるちゃんパンケーキ

正月：おしるこ

イベント

●日本テレビドラマ「世界一難しい恋」ポスター 掲示

*外部と連携した事業 都市戦略との連携 横浜市が推進するイベント等との連携 参照 (P.54)

●TBSテレビドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」 ポスター掲示

*外部と連携した事業 都市戦略との連携 横浜市が推進するイベント等との連携 参照 (P.54)

●イルミネーション装飾

期間：11月9日(水)～1月29日(日)

横浜みなとみらいホール MUSE SHOP 連携 横浜フランス月間2016「音楽と楽しむ おうち ビストロ、サロン・ド・テ」

期間：6月14日(火)～7月14日(木)

内容：期間限定メニュー「フランスワイン」
「LUPICIA パリ店限定販売の紅茶」の
横浜みなとみらいホールMUSE SHOP
での紹介

国際的な交流・発信



複製技術と美術家たち展 トークセッション



カサット展 開会式



カサット展 10万人達成セレモニー



カサット展 元町商店街フラッグ掲出



BODY展 開会式



BODY展 フォトセッション

招聘者 (肩書きは来館・視察当時)

バメラ・イヴィンスキー
美術史家
アメリカ合衆国
カサット展学術協力者／講演会講師
6月24日(金)・25日(土)

スハーニャ・ラフェル
ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館
副館長兼コレクション担当ディレクター
オーストラリア(国籍スリランカ)
ヨコハマトリエンナーレ構想会議出席
7月10日(日)

ナンシー・モウル・マッシューズ
ウィリアムズ・カレッジ美術館ユージェニー・
ブレンダーガスト名誉主席学芸員および名誉
講師
アメリカ合衆国
カサット展シンポジウム講師
7月31日(日)

アピチャッポン・ウィーラセタクン
作家
タイ
BODY展 開会式, アーティスト・トーク, ギャ
ラリーツアー
9月30日(金), 10月1日(土)

ウダム・チャン・グエン
作家
ベトナム
BODY展 開会式, アーティスト・トーク, ギャ
ラリーツアー
9月30日(金), 10月1日(土)

イー・イラン
作家
マレーシア
BODY展 開会式, ギャラリーツアー, フォー
ラム登壇
9月30日(金)~10月2日(日)

来館者 (肩書きは来館・視察当時。中国系、韓国系の名前は原則氏名の順)

トマス・ベルギス 他1名
ヌサンタラ近現代美術館 ディレクター
インドネシア
美術館視察
5月30日(月)

アン・バリントン 他1名
駐日アイルランド大使館 大使
アイルランド(日本在住)
館長表敬訪問
日本、アイルランド外交関係樹立60周年事業
に関する相談
7月13日(水)

ダン・リプカン
メトロポリタン美術館 トーマス・J・ワトソン・
ライブラリー アソシエイト・ミュージアム・ラ
イブラリアン
アメリカ合衆国
美術情報センター視察
8月10日(水)

トーマス・リーガー
コンラッド・フィッシャー・ギャラリー ディレ
クター
ドイツ
館長表敬訪問／美術館視察
8月29日(月)

デトマール・ウェストホフ
ウェストホフ・ファイン・アーツ ディレクター
ドイツ
館長表敬訪問／美術館視察
8月29日(月)

アンタリクサ
歴史家／クンチ・カルチュラル・スタディーズ
センター 共同設立者
インドネシア
美術館視察
10月1日(土)

ビー・シン
北京人文芸術中心 エキシビション・プロジェ
クト・ディレクター
中国
美術館視察
10月14日(金)

リー・ジェ
麗湖・A4美術館 展覧学芸部キュレーター
中国
美術館視察
10月14日(金)

リー・チー
上海外灘美術館 シニア・キュレーター
中国
美術館視察
10月14日(金)

ワン・リーリー
広東時代美術館 副館長, パブリックプログ
ラム部門キュレーター
中国
美術館視察
10月14日(金)

ブルーノ・ファーシェ 他3名
アンスティチュ・フランセ パリ本部 代表
フランス
館長表敬訪問／BODY展・コレクション展鑑賞
10月17日(月)

シュ・ミンジー 他1名
深圳市現代美術館都市計画展示場(MOCAPE)
館長
中国
美術館視察
10月26日(水)

ベルント・シェルホルン 他7名
シェルホルン・ファイン・アート
スイス
コレクターツアー／館長表敬訪問／BODY展・
コレクション展鑑賞
10月31日(月)

トム・トレヴァー
インディペンデント・キュレーター(IBAメン
バー)
イギリス
美術館視察
11月2日(水)

デイヴィッド・ロックフェラー・ジュニア
他1名
ロックフェラー社 取締役会長
アメリカ合衆国
館長表敬訪問／BODY展・コレクション展鑑賞
11月8日(火)

ウォック・ザ・ロック
ビエンナーレ・ジヨグジャ ディレクター
インドネシア
美術館視察
11月13日(日)

金恵珍 他1名
大邱美術館 キュレーター
韓国
BODY展視察
12月6日(火)

ジェニー・ワトソン 他1名
作家(収蔵作家)
オーストラリア
美術館長表敬訪問
12月7日(水)

ミシェル・ホー
NTU南洋理工大学 大学美術館ディレクター
シンガポール
美術館視察
12月13日(火)

キム・ソンジョン
アートソングセンター ディレクター／
Samusoディレクター
韓国
美術館視察
12月14日(水)

ホセ・アントニオ・テリオ
スペイン大使館 文化科学担当参事官
スペイン
篠山紀信展視察／協力関係構築の協議
1月9日(月祝)

キム・ジェイク 他4名
仁川市文化芸術課長
韓国
美術館視察
2月24日(金)

海外出張

逢坂恵理子
イタリア
国際ビエンナーレ協会(IBA) 理事会・総会へ
の参加(ミラノ)
5月29日(日)-6月4日(土)

韓国, 中国
国際美術展調査(Media City Seoul, 光州ビ
エンナーレ, 上海プロジェクト)
国際ビエンナーレ協会(IBA) 理事会への参加
(上海)
8月31日(水)-9月5日(月)

沼田英子
オーストラリア
ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館
平成30年度企画展に関わる調査
11月3日(木祝)-8日(火)

帆足亜紀
イタリア, ドイツ
国際ビエンナーレ協会(IBA) 理事会・総会へ
の参加(ミラノ)
国際美術展調査(ベルリン・ビエンナーレ)
5月29日(日)-6月6日(月)

アラブ首長国連邦
国際美術展調査(シャルジャ・ビエンナーレ13)
3月10日(金)-12日(日)

木村絵理子
イギリス
ブリティッシュ・カウンシルからの招聘による
日本・韓国・台湾の3か国合同キュレータープ
ログラムへの参加／平成28年度BODY展準
備業務
4月17日(日)-25日(月)

中国
企画展予備調査, 国際巡回展調査
3月28日(火)-30日(木)

大澤紗蓉子
カナダ
バンクーバー・アート・ギャラリー
クーリエ業務
5月30日(月)-6月4日(土)

金井真悠子
カナダ
バンクーバー・アート・ギャラリー
クーリエ業務
10月2日(日)-6日(木)

長谷川珠緒
オーストラリア
ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館
平成30年度企画展に関わる調査
11月3日(木祝)-8日(火)

資料

入館者数・収支

◎入館者数

経年推移

平成元年度	1,127,386人	平成11年度	792,905人	平成21年度	540,047人
平成2年度	990,818人	平成12年度	1,082,553人	平成22年度	1,408,713人
平成3年度	555,276人	平成13年度	862,895人	平成23年度	459,716人
平成4年度	541,465人	平成14年度	372,395人	平成24年度	662,159人
平成5年度	1,327,380人	平成15年度	780,928人	平成25年度	1,058,689人
平成6年度	528,995人	平成16年度	331,873人	平成26年度	529,748人
平成7年度	989,037人	平成17年度	1,527,694人	平成27年度	533,750人
平成8年度	344,239人	平成18年度	341,657人	平成28年度	584,725人
平成9年度	942,509人	平成19年度	413,410人		
平成10年度	278,954人	平成20年度	770,310人		(平成29年3月31日現在)

平成28年度事業別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展	2,859	15,175	9,170	41,393	50,693	27,059	7,167	8,988	3,482	24,945	41,531	0	232,462
コレクション展	3,213	17,304	9,860	41,570	54,667	28,037	9,290	11,650	4,713	26,498	43,459	0	250,261
New Artist Picks展	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,596	0	8,596
美術情報センター	2,313	2,251	1,512	3,325	4,209	2,295	2,066	2,893	1,432	3,837	3,016	1,372	30,521
鑑賞サポート	245	754	272	817	1,097	395	998	284	134	734	583	117	6,430
子どものアトリエ	1,820	2,768	2,605	2,358	1,388	2,030	1,988	2,752	1,169	1,950	2,031	1,551	24,410
市民のアトリエ	0	493	672	527	175	742	601	1,060	555	478	576	449	6,328
市民協働、地域社会や市民生活に貢献する事業	377	671	575	788	380	245	425	434	287	370	446	448	5,446
広報の活動、外部と連携した事業	354	325	140	2,240	448	657	756	384	636	373	1,098	113	7,524
その他	717	1,011	930	1,108	1,258	1,538	1,227	1,628	572	1,244	837	677	12,747
合計	11,898	40,752	25,736	94,126	114,315	62,998	24,518	30,073	12,980	60,429	102,173	4,727	584,725

◎収支

収入	
指定管理料	759,971,000
利用料金収入	67,595,735
自主事業収入	218,792,602
雑入	80,068,798
合計	1,126,428,135

支出	
人件費	354,032,928
事務費	23,040,075
事業費	354,745,335
管理費	207,645,629
公租公課	30,044,847
事務経費	156,919,321
合計	1,126,428,135

役員等・組織図

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団役員

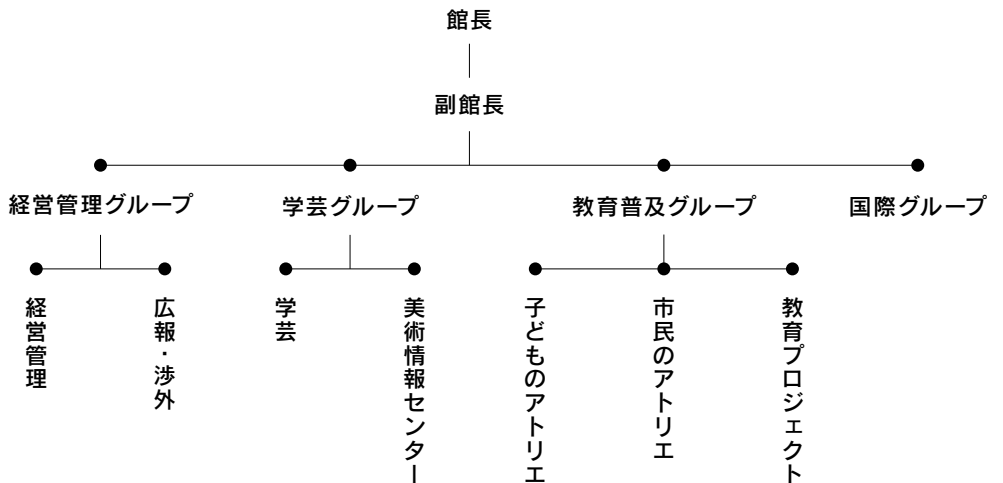
理事長	澄川喜一	彫刻家／元東京藝術大学 学長(代表理事)
専務理事	島田京子	元日本女子大学事務局長(代表理事)
常務理事	恵良隆二	広報・ACYグループ長(業務執行理事)
理事	清水克彦	事務局長 兼 総務グループ長(業務執行理事)
	藤崎信裕	経営企画室長 兼 横浜みなとみらいホール総支配人(業務執行理事)
	逢坂恵理子	横浜美術館 館長(業務執行理事)
	中村雅之	横浜能楽堂 館長(業務執行理事)
	近澤弘明	株式会社近沢レース店 代表取締役社長
	富岡順一	前国際交流基金 事業開発戦略室長
	久野敦子	公益財団法人セゾン文化財団事務局長 兼 プログラム・ディレクター
監事	齋藤貴司	ベイ・タックス税理士法人 代表社員 税理士
	柴田悟一	前横浜商科大学学長／横浜市立大学 名誉教授

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団評議員

上野 孝	横浜商工会議所 会頭／上野トランステック株式会社 代表取締役会長兼社長
小川純子	NHK横浜放送局 局長
新堀豊彦	横浜能楽連盟 名誉会長
鈴木 隆	株式会社横浜国際平和会議場 代表取締役社長
中村行宏	株式会社テレビ神奈川 代表取締役社長
中山こずゑ	横浜市文化観光局 局長
並木裕之	株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長
原 範行	株式会社ホテル、ニューグランド 代表取締役会長／原地所株式会社 代表取締役社長

(平成29年3月31日現在)

横浜美術館組織図



職員名簿

館長			逢坂恵理子		
副館長・主席学芸員			柏木智雄		
経営管理グループ	経営管理	経営管理グループ長	杉浦正美		
		チームリーダー	吉川由紀子		
		施設チームリーダー	石野克彦		
		施設担当リーダー	新海 実		
			足立陽子		
			梅澤のど佳		
			長島愛子		
			永田麻子		
			普川由貴子		
			輪湖みどり		
		広報・渉外		広報担当グループ長	西澤 洋
				広報・渉外チームリーダー	宮野律子
				担当リーダー	襟川文恵
				担当リーダー	佐藤正美
				担当リーダー	藤井聡子
			市川靖子		
学芸グループ	学芸	学芸グループ長・主席学芸員	沼田英子		
		美術情報センター担当グループ長 兼			
		チームリーダー・司書／主任学芸員	八柳サエ		
		主任学芸員(チームリーダー)	内山淳子		
		主任学芸員(チームリーダー)	中村尚明		
		主任学芸員(担当リーダー)	松永真太郎		
		学芸員	大澤紗蓉子		
		学芸員	片多祐子		
		学芸員	金井真悠子		
		学芸員	坂本恭子		
		学芸員	長谷川珠緒		
		学芸員	日比野民蓉		
		レジストラ	相原佳奈子		
					大沢知二
		美術情報センター	司書		吉田龍一
教育普及グループ		教育普及グループ長・主席エデュケーター	関 淳一		
		子どものアトリエ	担当グループ長・主席エデュケーター	山崎 優	
			主任エデュケーター(担当リーダー)	岡崎智美	
			創作・造形エデュケーター	大岩久美	
		市民のアトリエ	創作・造形エデュケーター	高德早矢香	
			主任エデュケーター(チームリーダー)	木下貴博	
			主任エデュケーター(担当リーダー)	柳川文秀	
		教育プロジェクト		創作・造形エデュケーター	櫻庭瑠実
				主任エデュケーター／主任学芸員(チームリーダー)	端山聡子
				鑑賞教育エデュケーター／学芸員	太田雅子
鑑賞教育エデュケーター／学芸員	河上祐子				
国際グループ	国際	国際グループ長	帆足亜紀		
		担当リーダー 兼 学芸グループ・主任学芸員(担当リーダー)	木村絵理子		
		担当リーダー	庄司尚子		

46名(平成29年3月31日現在)

*同職名の場合は、五十音順

条例・施行規則

横浜美術館条例

昭和63年9月24日
条例第44号

横浜美術館条例をここに公布する。
横浜美術館条例

(設置)

第1条 美術文化の振興と市民の美術に関する学習、創作活動等に寄与するため、横浜美術館(以下「美術館」という。)を横浜市西区に設置する。
(平元条例39・平10条例25・一部改正)

(事業)

第2条 美術館は、次の事業を行う。
(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の保管、調査研究、展示及び利用に関すること。
(2) 美術に関する情報の収集及び提供に関すること。
(3) 美術に関する調査及び研究に関すること。
(4) 美術に関する市民の創作活動等の指導及び助言に関すること。
(5) 美術に関する講演会、講習会、講座等の開催に関すること。
(6) 前各号の事業のための施設及び設備の提供に関すること。
(7) その他美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(施設)

第3条 前条に掲げる事業を行うため、美術館に次の施設を置く。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室及びグランドギャラリー
(2) 企画展示室、アトリエ及びレクチャーホール
(3) 駐車場
(平23条例23・一部改正)

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び休館日は、規則で定める。

(指定管理者の指定等)

第5条 次に掲げる美術館の管理に関する業務は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により、指定管理者(同項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。)に行わせるものとする。
(1) 美術館の施設の利用の許可等に関すること。
(2) 特別利用(第9条第1項に規定する特別利用をいう。)の許可等に関すること。
(3) 第2条に規定する事業の実施に関すること。
(4) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
(5) その他市長が定める業務
2 指定管理者は、横浜市の文化芸術の振興及び普及に関する施策の方針を理解し、美術に関する高度な専門的知識を有するとともに、美術品等の保管、調査研究及び展示、美術に関する講座等の開催その他美術文化の振興を図るための事業を自ら企画し、及び実施し、並びに市民による美術に関する学習、創作活動等に対する支援を行うものでなければならない。
3 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を市長に提出しなければならない。
4 市長は、前項の規定により提出された書類を審査し、かつ、実績等を考慮して、美術館の設置の目的を最も効果的に達成することができるものと認めたものを指定管理者として指定する。
5 市長は、指定管理者の候補者を選定しようとするときは、特別の事情があると認める場合を除き、第15条第1項に規定する横浜美術館指定管理者選定評価委員会(以下「選定評価委員会」という。)の意見を聴かななければならない。
(平17条例69・追加、平23条例48・一部改正)

(指定管理者の指定等の公告)

第6条 市長は、指定管理者の指定をしたとき、及びその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告しなければならない。
(平17条例69・追加)

(管理の業務の評価)

第7条 指定管理者は、市長が特別の事情があると認める場合を除き、その指定の期間において、第5条第1項各号に掲げる美術館の管理に関する業務について、選定評価委員会の評価を受けなければならない。
(平23条例48・追加)

(利用の許可)

第8条 第3条第2号に掲げる施設を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、美術館の施設の利用が次のいずれかに該当する場合は、利用を許可しないものとする。
(1) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(2) 美術館の設置の目的に反するとき。
(3) 美術館の管理上支障があるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。
4 第1項の許可の手續について必要な事項は、規則で定める。
(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第5条線下・一部改正、平23条例48・旧第7条線下)

(美術品等の特別利用の許可)

第9条 美術館に保管され、又は展示されている美術品等について、学術研究等のため、撮影、模写、模造、熟覧等(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。
2 指定管理者は、前項の許可に美術品等の保全上及び美術館の管理上必要な条件を付けることができる。
3 指定管理者は、特別利用が次のいずれかに該当する場合は、特別利用を許可しないものとする。
(1) 美術品等の保全上支障があるとき。
(2) 美術館の管理上支障があるとき。
(3) 美術館における秩序を乱し、又は公益を害するおそれがあるとき。
(4) その他指定管理者が必要と認めたとき。
4 第1項の許可の手續について必要な事項は、規則で定める。
(平17条例69・旧第6条線下・一部改正、平23条例48・旧第8条線下)

(利用料金)

第10条 常設展示室において、展示されている美術品等を観覧しようとする者は、指定管理者に対し、その利用に係る料金(以下「利用料金」という。)を支払わなければならない。
2 美術情報室において、美術情報機器を利用しようとする者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
3 レクチャーホールの利用について、第8条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
4 特別利用について、前条第1項の規定による許可を受けた者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
5 駐車場を利用する者は、指定管理者に対し、利用料金を支払わなければならない。
6 第1項の利用料金にあつては別表第1に定める額の範囲内において、第2項の利用料金にあつては別表第2に定める額の範囲内において、第3項の利用料金にあつては別表第3に定める額の範囲内において、第4項の利用料金にあつては1点につき1回又は1日ごとに3,000円の範囲内において、前項の利用料金にあつては別表第4に定める額の範

条例・施行規則

圏内において、指定管理者が市長の承認を得て定めるものとする。

7 第1項から第4項までの利用料金は、前納とする。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、後納とすることができる。

8 第5項の利用料金は、後納とする。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第7条繰下・一部改正、平23条例23・一部改正、平23条例48・旧第9条繰下・一部改正)

(利用料金の減免)

第11条 指定管理者は、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、利用料金の全部又は一部を免除することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第8条繰下・一部改正、平23条例48・旧第10条繰下)

(利用料金の不返還)

第12条 既納の利用料金は、返還しない。ただし、必要があると認められる場合又は規則で定める場合は、指定管理者は、その全部又は一部を返還することができる。

(平10条例17・全改、平17条例69・旧第9条繰下・一部改正、平23条例48・旧第11条繰下)

(許可の取消し等)

第13条 指定管理者は、第8条第1項及び第9条第1項の規定により許可を受けた者が次のいずれかに該当する場合は、当該許可を取り消し、又は施設の利用若しくは特別利用を制限し、若しくは停止させることができる。

(1) 第8条第3項各号又は第9条第3項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

(2) この条例若しくはこの条例に基づく規則の規定又はこれらに基づく指定管理者の処分に違反したとき。

(3) この条例に基づく許可の条件に違反したとき。

(平10条例17・一部改正、平17条例69・旧第10条繰下・一部改正、平23条例48・旧第12条繰下・一部改正)

(入館の制限)

第14条 指定管理者は、美術館の入館者が次のいずれかに該当する場合は、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 他の入館者に迷惑をかけ、又は迷惑をかけるおそれがあるとき。

(2) その他美術館の管理上支障があるとき。

(平17条例69・旧第11条繰下・一部改正、平23条例48・旧第13条繰下)

(横浜美術館指定管理者選定評価委員会)

第15条 指定管理者の候補者の選定、指定管理者による美術館の管理の業務に係る評価等について調査審議するため、横浜美術館指定管理者選定評価委員会を置く。

2 選定評価委員会は、市長が任命する委員10人以内をもって組織する。

3 前項に定めるもののほか、選定評価委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(平23条例48・追加)

(委任)

第16条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(平17条例69・旧第13条繰下、平23条例48・旧第14条繰下)

附則

この条例は、規則で定める日から施行する。

(平成元年10月規則第96号により同年11月3日から施行)

附則(平成元年9月条例第39号)

この条例は、横浜美術館条例の施行の日から施行する。

附則(平成10年3月条例第17号)抄

(施行期日)

1 この条例は、平成10年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際既にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき施設の使用の申請を行っている者に係る当該施設の料金の納付等に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附則(平成13年2月条例第7号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附則(平成14年2月条例第5号)抄

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

附則(平成17年6月条例第69号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の横浜美術館条例第12条の規定によりその管理に関する事務を委託している横浜美術館については、地方自治法の一部を改正する法律(平成15年法律第81号)附則第2条に規定する日までの間は、なお従前の例による。

附則(平成19年2月条例第6号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附則(平成23年3月条例第23号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附則(平成23年12月条例第48号)

(施行期日)

1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき公の施設の管理に関する業務を行っている指定管理者が、その指定の期間においてこの条例の施行の日前までにこの条例による改正後のそれぞれの条例の規定による当該業務についての評価に相当する評価を受けている場合にあっては、当該期間においては当該業務についての評価に係るこれらの規定は適用しない。

別表第1(第10条第6項)

(平10条例17・平13条例7・平17条例69・平19条例6・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		個人	団体(20人以上)
一般		500円	400円
大学生・高校生	1人1回につき	300円	240円
中学生・小学生		100円	80円

(備考)

- 1 「一般」とは、「大学生・高校生」、「中学生・小学生」及び小学校に就学するまでの者以外の者をいう。
- 2 「大学生・高校生」とは、大学、短期大学、高等専門学校、高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部、専修学校若しくは各種学校に在学する学生若しくは生徒又はこれらに準ずる者をいう。
- 3 「中学生・小学生」とは、中学校、中等教育学校の前期課程、小学校若しくは特別支援学校の中学部若しくは小学部に在学する生徒若しくは児童又はこれらに準ずる者をいう。
- 4 小学校に就学するまでの者は、無料とする。

別表第2(第10条第6項)

(平10条例17・平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
ビデオ学習システムブース		100円
名画鑑賞システムブース	1回につき	100円

別表第3(第10条第6項)

(平10条例17・全改、平17条例69・平23条例23・平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金	
		平日	20,000円
レクチャーホール	1日につき	日曜日、土曜日及び休日	24,000円
附帯設備	1式、1台又は1枚、1日につき	150,000円	

(備考)

- 1 「1日」とは、午前10時から午後9時までをいう。
- 2 「平日」とは日曜日、土曜日及び休日以外の日をいい、「休日」とは国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日をいう。
- 3 レクチャーホール及び附帯設備の利用が、午前10時から午後9時までの時間以外の時間(以下「時間外」という。)にわたった場合の当該時間外に係る利用料金の額は、時間外における利用1時間につき、レクチャーホール及び利用する当該附帯設備の1日の利用料金の額にそれぞれ8分の1を乗じて得た額を合算して得た額とする。この場合において、時間外における利用時間が1時間未満のとき、又はこれに1時間未満の端数があるときは、その時間又は端数時間を1時間として計算する。

別表第4(第10条第6項)

(平23条例23・追加、平23条例48・一部改正)

区分	単位	利用料金
大型車	1台、30分につき	500円
その他のもの	1台、1時間30分まで	500円
	利用時間が1時間30分を超えるときは、超過時間30分までごとに250円を加算する。	

条例・施行規則

横浜美術館条例施行規則

平成元年10月25日
規則第97号

横浜美術館条例施行規則をここに公布する。
横浜美術館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、横浜美術館条例(昭和63年9月横浜市条例第44号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 横浜美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、次のとおりとする。
(1) 常設展示室、美術情報室、美術図書室、グランドギャラリー、企画展示室及びアトリエ 午前10時から午後6時まで
(2) レクチャーホール 午前10時から午後9時まで
(3) 駐車場 午前10時から午後9時まで(大型車にあつては、午前10時から午後6時まで)
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、開館時間を変更することができる。
(平23規則22・一部改正)

(休館日)

第3条 美術館の休館日は、次のとおりとする。
(1) 木曜日。ただし、その日が、国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときはその翌日とし、当該翌日が休日に当たるときは日曜日、土曜日及び休日のいずれにも当たらない直近の日とする。
(2) 1月1日から1月3日まで及び12月29日から12月31日まで
2 市長は、前項の規定にかかわらず、特に必要があると認める場合は、休館日に開館し、又は休館日以外の日に開館しないことができる。
(平14規則32・一部改正)

(指定申請書の提出等)

第4条 指定管理者の指定を受けようとするものは、指定申請書(第1号様式)を市長に提出しなければならない。
2 前項の申請書には、条例第5条第3項に規定する事業計画書及び次に掲げる書類を添付しなければならない。
(1) 定款、寄附行為、規約その他これらに類する書類
(2) 法人にあつては、当該法人の登記事項証明書
(3) 前項の申請書を提出する日の属する事業年度の収支予算書及び事業計画書並びに前事業年度及び前々事業年度の収支計算書及び事業報告書
(4) 美術館の管理に関する業務の収支予算書
(5) その他市長が必要と認める書類
(平17規則89・追加、平19規則47・一部改正)

(施設の利用許可申請等)

第5条 条例第8条第1項の規定により美術館の施設の利用の許可を受けようとする者は、利用許可申請書(第2号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
2 指定管理者は、企画展示室及びアトリエについては、指定管理者と共催して美術館の設置目的に合致する事業を行うため当該施設を利用しようとする団体に対し、利用を許可するものとする。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第4条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第6条 前条第1項の申請の受付は利用日の3箇月前の日の属する月の初日から行うものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。ただし、

指定管理者が主催し、又は共催して利用する場合は、この限りでない。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第5条線下・一部改正)

(特別利用の許可申請)

第7条 条例第9条第1項の規定により特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書(第3号様式)を指定管理者に提出しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第6条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(申請の受付)

第8条 前条の申請は特別利用をしようとする日の7日前までに行わなければならないものとし、受付時間は午前10時から午後5時までとする。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第7条線下)

(観覧券の発行)

第9条 指定管理者は、常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料を観覧しようとする者に対し、観覧券を発行するものとする。この場合において、観覧券の発行は、閉館時間の30分前まで行うものとする。
2 前項に規定する観覧券は、利用料金と引換えに交付する。
(平10規則42・平14規則32・一部改正、平17規則89・旧第8条線下・一部改正)

(美術情報機器の利用)

第10条 条例第10条第2項に規定する美術情報機器を利用しようとする者は、美術情報機器に備付けの料金受入機により利用料金を納付しなければならない。
(平10規則42・一部改正、平17規則89・旧第9条線下・一部改正、平24規則16・一部改正)

(利用料金の後納)

第11条 条例第10条第7項ただし書に規定する規則で定める場合は、国又は地方公共団体が利用する場合とする。
(平10規則42・旧第11条線下・一部改正、平17規則89・旧第10条線下・一部改正、平23規則22・平24規則16・一部改正)

(利用料金の減免)

第12条 条例第11条に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、免除する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。この場合において、その額に10円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てる。
(1) 教職員に引率された横浜市内の小学校(特別支援学校の小学部を含む。)若しくは中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)の児童若しくは生徒又は各種学校の小学校若しくは中学校に相当する課程に在学する者の団体及びそれらの引率者が、教育上の目的から常設展示室において展示されている美術品及び美術に関する資料の観覧(以下「常設展の観覧」という。)をする場合 利用料金の全額
(2) 土曜日に、小学校(特別支援学校の小学部を含む。)、中学校(中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。)若しくは高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の児童若しくは生徒、高等専門学校、専修学校若しくは各種学校の小学校、中学校若しくは高等学校に相当する課程に在学する者又はこれらに準ずると認められる者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
(3) 教職員に引率された横浜市内の高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。)の生徒又は高等専門学校、

専修学校若しくは各種学校の高等学校に相当する課程に在学者の団体及びそれらの引率者が教育上の目的から常設展の観覧をする場合 利用料金の半額

- (4) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第12条第1項に規定する児童相談所若しくは知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第12条第1項に規定する知的障害者更生相談所において知的障害との判定を受けた者又は精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びこれらの者の介護者が、常設展の観覧をする場合 利用料金の全額
- (5) 国又は地方公共団体がレクチャーホールを利用する場合 利用料金の全額
（平7規則45・平8規則20・一部改正、平10規則42・旧第12条繰上・一部改正、平11規則28・平13規則36・平17規則31・一部改正、平17規則89・旧第11条繰下・一部改正、平19規則47・平24規則16・一部改正）

（利用料金の返還）

第13条 条例第12条ただし書に規定する規則で定める場合は次の各号に掲げるとおりとし、返還する利用料金の額は当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 常設展の観覧、美術情報機器及びレクチャーホールの利用並びに美術品及び美術に関する資料の特別利用について、観覧、利用及び特別利用をする者の責めに帰することができない事由によりこれらの行為ができなくなった場合 既納の利用料金の全額
- (2) レクチャーホールの利用の許可を受けた者が利用日の30日前までに利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
- (3) 特別利用の許可を受けた者が利用日の前日までに特別利用の許可の取消しを申し出た場合 既納の利用料金の全額
（平10規則42・追加、平17規則89・旧第12条繰下・一部改正、平24規則16・一部改正）

（委任）

第14条 この規則の施行に関し必要な事項は、文化観光局長が定める。
（平10規則42・旧第14条繰上、平17規則89・旧第13条繰下・一部改正、平18規則84・平22規則29・平23規則22・一部改正）

附則

この規則は、平成元年11月3日から施行する。

附則（平成4年9月規則第88号）

この規則は、平成4年9月12日から施行する。

附則（平成6年3月規則第41号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成6年4月1日から施行する。

（経過措置）

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前の（中略）規定により作成されている様式書類は、この規則の施行の日から1年間は、適宜修正の上使用することができる。

附則（平成7年3月規則第45号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附則（平成8年3月規則第20号）

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附則（平成10年3月規則第42号）

（施行期日）

1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則による改正後のそれぞれの規則の規定は、この規則の施行の日以後の申請に係る料金の減免及び返還について適用し、同日前の申請に係る料金の減免及び返還については、なお従前の例による。

3 この規則の施行の際現にこの規則による改正前のそれぞれの規則の規定により作成されている様式書類は、なお当分の間、適宜修正の上使用することができる。

4 前2項に定めるもののほか、この規則の施行について必要な事項は、市長が定める。

附則（平成11年3月規則第28号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附則（平成13年3月規則第36号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。

附則（平成14年3月規則第32号）

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附則（平成17年3月規則第31号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附則（平成17年6月規則第89号）

この規則は、公布の日から施行する。

附則（平成18年3月規則第84号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。

（経過措置）

5 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成19年3月規則第47号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附則（平成22年3月規則第29号）抄

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

（経過措置）

6 この規則の施行の際現に決裁処理の過程にある事案の処理については、なお従前の例による。

附則（平成23年3月規則第22号）

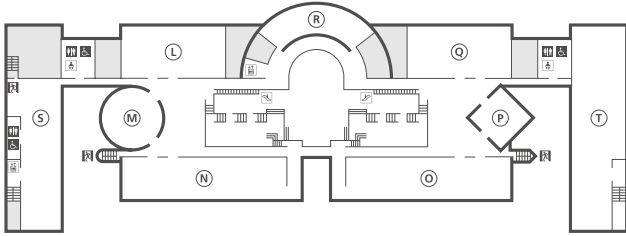
この規則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、第14条の改正規定は、平成23年5月1日から施行する。

附則（平成24年3月規則第16号）

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

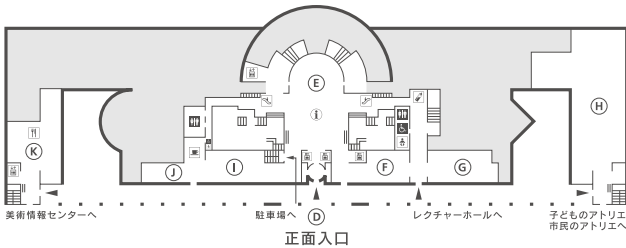
※ 様式省略

3F



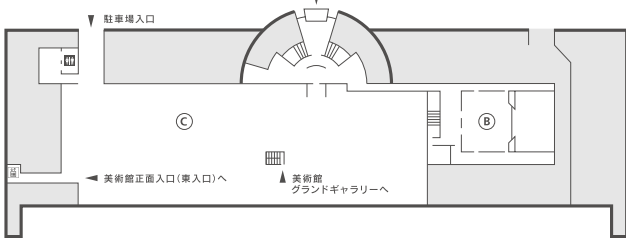
- ①-② 展示室
- ③ 美術情報センター
- ④ 市民のアトリエ

2F



- ⑤ 正面入口
- ⑥ グランドギャラリー
- ⑦ アートギャラリー2
- ⑧ アートギャラリー1
- ⑨ 子どものアトリエ
- ⑩ ミュージアムショップ
- ⑪ カフェ
- ⑫ レストラン

1F



- ⑬ 西入口
- ⑭ レクチャーホール
- ⑮ 駐車場

建築概要

敷地面積 19,803m²
 建築面積 9,621m²
 延床面積 26,829m²
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造8階建(一部3階建)
 外装 花崗岩張り、アルミ成型板張り、軽量コンクリート金ゴテ押さえ、断熱セメントブロック敷込み、金属成型板張り
 内装 岩綿吸音板、プラスターボード、フレキシブルボード、金属成型パネル、花崗岩張り、フローリング板張り
 設計 丹下健三・都市・建築設計研究所
 監理 横浜市建築局、丹下健三・都市・建築設計研究所
 施工 建築工事:JV(竹中工務店、清水建設、奥村組、東急建設、佐藤工業、奈良建設ほか計18社)

休館日

木曜日(祝日を除く)、木曜日に祝日開館した場合はその翌日、年末年始。

開館時間

展覧会: 10:00~18:00(入館は17:30まで)
 美術情報センター: 10:00~18:00(入室および各種利用受付は17:30まで)
 *次の施設は利用時間が異なります。
 ミュージアムショップ: 11:00~18:00
 Café小倉山: 10:45~18:00(ラストオーダー17:30)
 駐車場: 10:00~21:00/収容台数: 169台
 有料(最初の90分500円、以降30分毎に250円)

観覧料

コレクション展: 一般	500 (400) 円
大学・高校生	300 (240) 円
中学生	100 (80) 円
小学生以下	無料

企画展: 展覧会ごとに異なる
 ()内は有料20名以上の団体料金(要事前申込)

交通案内

電車:
 みなとみらい線(東急東横線直通)を利用の場合:
 みなとみらい駅下車、3番出口からマークイズみなとみらい<グランドガレリア>経由、徒歩3分。または<マークイズ連絡口>(10:00~)徒歩5分。
 JR、横浜市営地下鉄を利用の場合:
 桜木町駅下車(動く歩道)を利用、徒歩10分。
車:
 桜木町駅前から日本丸方面へ入り。または桜木町駅前から紅葉坂交差点を右折してMM21地区へ入り、美術館へ。横浜駅からは高島町MM21地区入口を通して美術館へ。いずれも3~5分(首都高速「みなとみらい出入口」も利用できます)。

平成28年度 横浜美術館年報

平成29年6月30日発行

編集・発行：横浜美術館
〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1
TEL:045-221-0300(代) FAX:045-221-0317
<http://yokohama.art.museum>

デザイン：峯石景子
印刷・製本：山陽印刷株式会社

© Yokohama Museum of Art 2017

